



2023年度 EA21 環境経営レポート



中山化成有限会社

【目次】

1. 環境経営方針・事業内容	-----	3
2. 事業概要及び取組の対象組織・活動	-----	4
3. EA21実施体制	-----	5
4. 環境経営目標(全工場取りまとめ)	-----	6
1) 二酸化炭素排出量総量の推移	-----	6
5. 環境経営計画とその取組結果		
1) 二酸化炭素排出量の1%削減	(本社) -----	7
"	(日高工場) -----	8~12
"	(川下工場) -----	13~17
2-1) 産業廃棄物のリサイクル推進	(本社) -----	18
"	(日高工場) -----	19
"	(川下工場) -----	20
2-2) 一般廃棄物排出量の1%削減	(本社) -----	18
"	(日高工場) -----	19
"	(川下工場) -----	20
3) 水使用量の現状維持	(本社) -----	21
"	(日高工場) -----	21
"	(川下工場) -----	22
4) グリーン購入の推進	(本社) -----	22
"	(日高工場) -----	22
"	(川下工場) -----	22
5-1) 工場周辺の清掃活動	(本社) -----	23
"	(日高工場) -----	24
"	(川下工場) -----	25
5-2) 地域の活動に参加	(本社) -----	23
"	(日高工場) -----	24
"	(川下工場) -----	25
"	(全工場) -----	26
6) 化学物質の適正管理	(川下工場) -----	27
7. SDGsの取り組み	-----	29
8. その他の活動	-----	30
9. 環境責任者による2023年度の工場全体の評価	-----	30
10. 代表者による全体の評価と見直し	-----	31
11. 次年度の取組	-----	32~33

1. 環境経営方針

【基本理念】

当社は、深刻化する地球温暖化への対応や、有限である資源の有効利用が人類共通の重要課題と考えています。

当社は事業活動において環境負荷の低減や社会への貢献を目指します。
具体的には国際目標である「持続可能な開発目標(SDGs)」を考慮し、全社一丸となって自主的・積極的に、環境への継続的改善を推進いたします。

【行動指針】

1. 次の事項に取り組みます。
 - 1-1. 車両のエコドライブの推進や電気の省エネルギーの推進で二酸化炭素排出量を削減する
 - 1-2. 産業廃棄物及び一般廃棄物の削減
 - 1-3. 水使用量の現状維持
 - 1-4. グリーン購入の推進
 - 1-5. 工場周辺の清掃活動の推進
 - 1-6. 化学物質の適正管理
 - 1-7. 地域貢献活動の推進
2. 関係する環境関連法規を遵守します。
3. 環境情報の発信

2023年 4月 1日

中山化成有限会社
代表取締役 谷口 知幸

事業内容

弊社は、レクサスブランドを中心に車両用シートの製造を行っております。
人財・品質を重視したハイクオリティな製品を提供できるシステムで、年間約5万台のレクサスシートの生産に対応しています。

1. 裁断工程



2. 縫製工程



3. 検査工程



2. 事業概要及び取組の対象組織・活動

■組織の概要

(1) 名称及び代表者名

中山化成有限会社
代表取締役 谷口 知幸

(2) 所在地

【本 社】 大分県日田市大字川下133-6
【日高工場】 大分県日田市大字日高2308-1
【川下工場】 大分県日田市大字川下72-1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者：日高工場 工場長
担 当 者：総務部 総務係 EA担当者
連 絡 先：Tel 0973-24-5228

(4) 事業内容

本社：ウレタン加工品の製造・販売
日高工場・川下工場：車両用シートの縫製及びそれに準ずる製造

(5) 事業の規模

【売上額】 2023年度…23億8,312万円

【その他】	本 社	日高工場	川下工場
社員	5名	25名	26名
パート	0名	7名	4名
技能実習生	0名	9名	0名
派遣社員	0名	9名	8名
延べ床面積	51m ²	660m ²	897m ²

総合計93名

※2024年4月1日時点

(6) 事業年度

4月～翌3月

(7) 法人設立年月日

1978年 5月

(8) 資本金

1,000万円

■認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：中山化成有限会社

関連事業所：本 社

日高工場

川下工場

対 象 外：無し

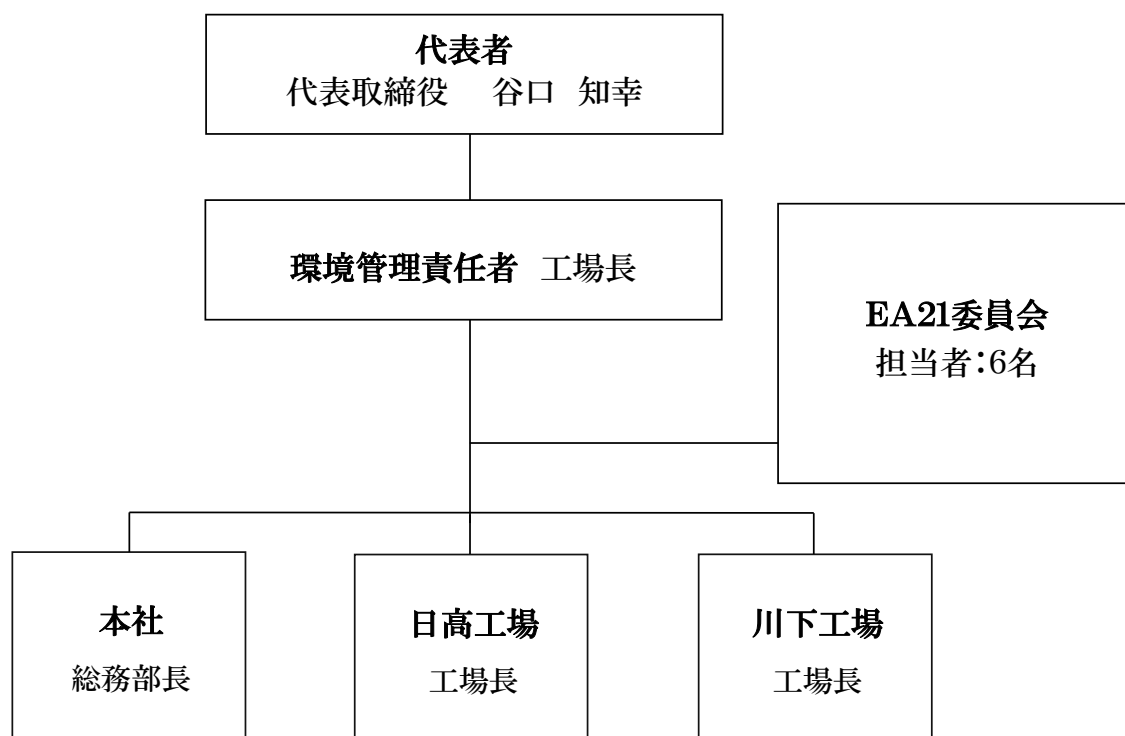
活 動：本社…ウレタン加工品の製造・販売

日高工場・川下工場…車両用シートの縫製及びそれに準ずる製造

【周辺地図】



3. EA21実施体制



■役割分担表

代表者	・代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ ・環境経営方針を作成・見直し、従業員に周知する ・環境管理責任者、EA21事務局員を任命する ・環境への取組を実施するための資源(人・もの・金)を準備する ・EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する ・経営における課題とチャンスを整理し、明確化する
環境管理責任者	・EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境実績を向上させる ・環境経営目標、環境経営計画を作成する ・3ヶ月に1回、環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実行状況を確認する ・上記の結果を代表者に報告する
EA21委員会	・1ヶ月に1回開催し、社内調整、対応を検討する ・環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類、及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う ・社外からの環境情報の収集と伝達を行う
部門長(工場長)	・環境経営方針、自部門の環境経営目標、環境経営計画を部門全員に周知する
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

4. 環境経営目標

環境経営目標		単位	工場	基準値	本年度 (2023年度) 目標値	来年度 (2024年度) 目標値	再来年度 (2025年度) 目標値
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2 /稼働日数	本社	同一建物内でウレタン部門を”やわらか製作所(株)”と分社化し、環境負荷を分けることが出来ない為、数値目標は立てず活動を行う			
			日高	333.25	333.25	329.92 (▲1%)	326.59 (▲2%)
			川下	417.86	417.86	413.68 (▲1%)	409.50 (▲2%)
2-1	産業廃棄物のリサイクル推進	%	全工場	100	現在のリサイクル率(100%)を維持		
2-2	一般廃棄物排出量の削減	kg	本社	同一建物内でウレタン部門を”やわらか製作所(株)”と分社化し、環境負荷を分けることが出来ない為、数値目標は立てず活動を行う			
			日高	620	601 (▲3%)	595 (▲4%)	589 (▲5%)
			川下	2,430	2,357 (▲3%)	2,333 (▲4%)	2,309 (▲5%)
3	水使用量の現状維持	m³	本社	井戸水使用の為、数値目標は立てず活動を行う			
			日高	300	現状維持		
			川下	48			
4	グリーン購入の推進		全工場	不明	社内規定に基づき100%を目指す		
5-1	工場周辺の清掃活動	回	全工場	実績無し	月1回行う		
5-2	地域の活動に参加	回	全工場	実績無し	地域の実態調査を行い、活動回数を把握して、数値目標を定める		
6	化学物質の適正管理		日高	-	数値目標を立てず、適正に管理する		
			川下	-			

注1) 本社は、項目1・項目2-2について、ウレタン部門分社化の為、数値目標は立てず活動を行います。

注2) 項目1 二酸化炭素排出量削減において、2022年度より購入電力の排出係数を0.489kg-CO2/kwh(2020年度(例リミックスポイント))を使用しております。

注3) 項目1について、電気使用量は、昨年度の生産台数実績から1台当たりの電気使用量を算出し、今年度の予定台数に反映し、2020年度より毎年、基準値を変更します。

注4) 項目1について、日高・川下工場のガソリン使用量は対象車を変更した為2023年度に基準値を変更、川下工場の灯油使用量は目標未達成が続いた為2022年度に変更しております。

注5) 項目2-2について、目標達成が続いた為、2020年度に基準値を変更しております。

注6) 項目3について、目標未達成が続いた為、川下工場は2022年度、日高工場は2023年度に基準値を変更しております。

注7) 項目4について、グリーン購入に関する社内規定…「エコ商品と比較したときに価格が10%以上高くなる場合は、エコ対象外商品を購入する。」

注8) 項目6について、本社は化学物質の使用が無い為、除外しております。

4. 1) 二酸化炭素排出量総量の推移

二酸化炭素排出量についての環境目標は、原単位表示にしている為、二酸化炭素排出量総量について下記に表示します。

(単位:t-CO2)

	2021年度	2022年度	2023年度
本社	-	-	-
日高工場	73	66	67
川下工場	91	74	97
合計	164	140	164

5. 環境経営計画とその取組結果

1) 二酸化炭素排出量の1%削減

本 社

責任者:EA担当 担当者:EA担当

項 目	目標の目安(指標)	実績値	達成率(%)	達成状況
二酸化炭素排出量	※ 同一建物内でウレタン部門を”やわらか製作所(株)”と分社化し、環境負荷を分けることが出来ない為、数値目標は立てず活動を行う			
電気使用量				
② 灯油使用量				
③ ガソリン使用量				

【達成状況の判定】 ○: 達成率≥100% △: 100> 達成率≥95 ×: 達成率<95 * 達成率=目安÷実績×100

取組目標	活動項目	実施状況
1 電気使用量の1%削減	1 事務所・現場の照明は、昼休み・残業時等不必要な時は消灯する	○
	2 食堂・トイレ等の照明は、普段は消灯し、使用時のみ点灯する	○
	3 夏季における軽装(クールビズ)の推進	○
	4 OA機器(パソコン)は省電力設定にする	○
	5 コンプレッサーのエア漏れ点検	○
2 灯油使用量の1%削減	1 感染症対策の換気以外、ドアや窓を開けっ放しにしない	○
	2 重ね着をする(ウォームビス推進)	○
3 ガソリン使用量の1%削減	1 エコドライブ等、運転方法の配慮を励行する	○
	2 配送(社用車)の無駄をなくす	

【実施状況の判定】 ○: 実行されている △: 実行されているが十分でない ×: 実行されていない -: 判定できない、該当しない

◆取組結果の評価

1. サーキュレーターと扇風機を設置し、空気を循環させた	判定 ○
2. ドアや窓の開けっ放しがないように協力し、個人で出来る対策も行った	○

◆取組結果への対策

I	サーキュレーターと扇風機を使用し、部屋の空気を循環させる
II	軽装(クールビズの推進)、重ね着をする(ウォームビス推進)

I. サーキュレーターと扇風機を使用し、部屋の空気を循環させる。

対策:サーキュレーターと扇風機を設置する。

サーキュレーターと扇風機を設置



II. 軽装(クールビズの推進)、重ね着をする(ウォームビス推進)

対策:クールビズ推進、ウォームビス推進ポスターを掲示。

クールビズ推進ポスターを掲示



日高工場

責任者:工場長 担当者:EA担当

項目	目標の目安(指標)
二酸化炭素排出量	333 kg-CO ₂ /稼働日数
① 電気使用量	88,392 kWh
② 灯油使用量	774 L
③ ガソリン使用量	1,300 L
④ 軽油使用量	13,390 L
稼働日数	250

実績値	達成率(%)	達成状況
270	124%	○
60,310	147%	○
387	200%	○
363	358%	○
13,761	97%	△
稼働日数		250

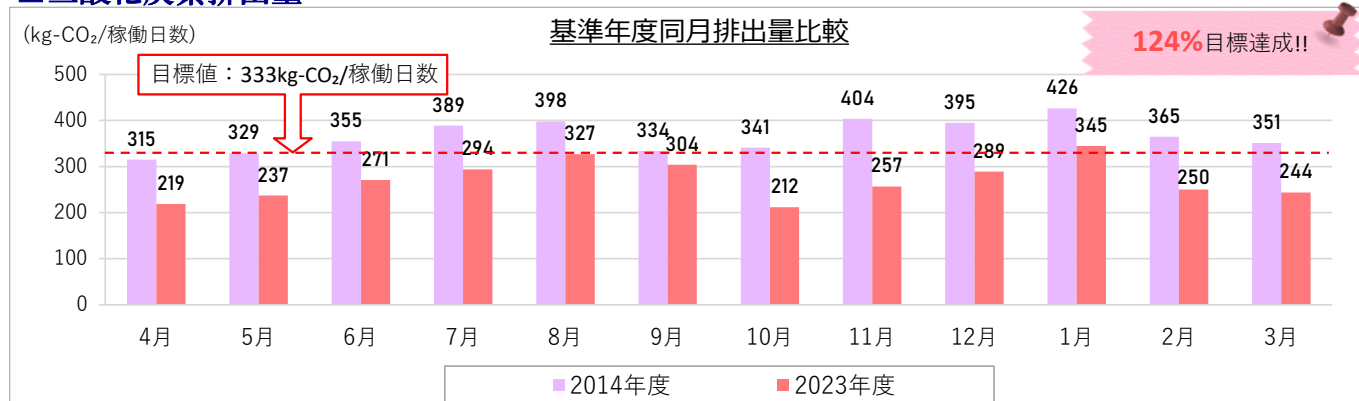
【達成状況の判定】 ○: 達成率≥100% △: 100>達成率≥95 ×: 達成率<95 *達成率=目安÷実績×100

※化石燃料使用量について、2014年度より日高工場と川下工場の実績値を分配

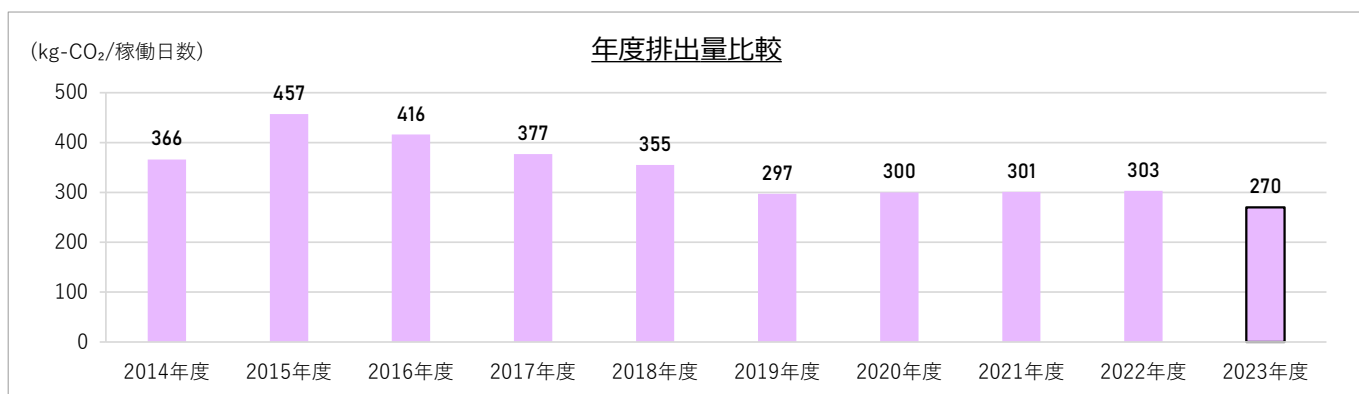
取組目標	活動項目	実施状況
① 電気使用量の1%削減	1 事務所・現場の照明は、昼休み・残業時等不必要な時は消灯する	○
	2 食堂・トイレ等の照明は、普段は消灯し、使用時のみ点灯する	○
	3 夏季における軽装(クールビズ)の推進	○
	4 電力不要時は、負荷遮断、変圧器の遮断を行う	○
	5 OA機器(パソコン)は省電力設定にする	○
	6 コンプレッサーのエアリー漏れ点検	○
② 灯油使用量の1%削減	1 感染症対策の換気以外、ドアや窓を開けっ放しにしない	○
	2 重ね着をする(ウォームビス推進)	○
③ ガソリン使用量の1%削減	1 エコドライブ等、運転方法の配慮を厳行する	○
	2 配送(社用車)の無駄をなくす	○
④ 軽油使用量の1%削減	1 エコドライブ等、運転方法の配慮を励行する	○

【実施状況の判定】 ○: 実行されている △: 実行されているが十分でない ×: 実行されていない -: 判定できない、該当しない

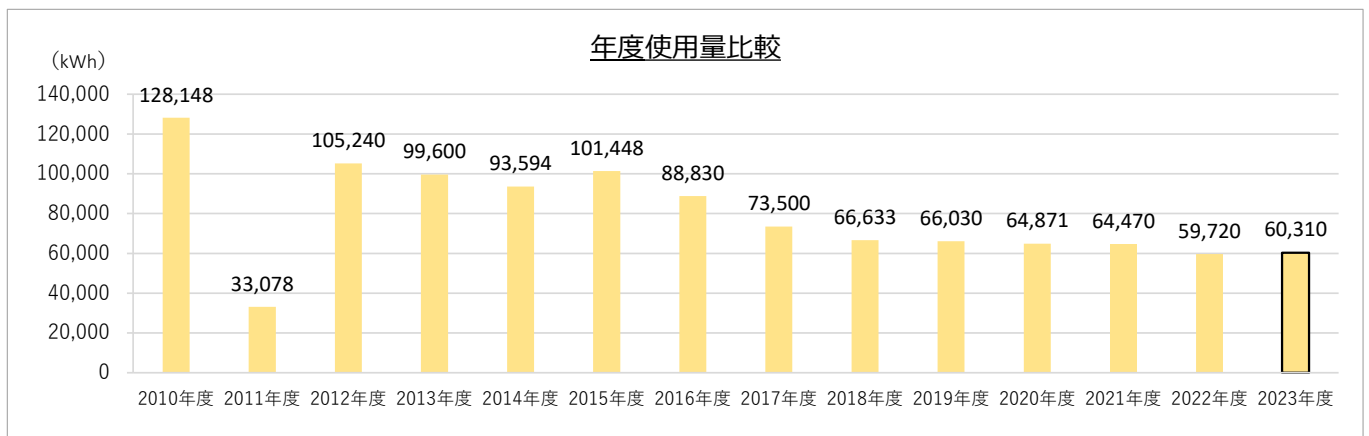
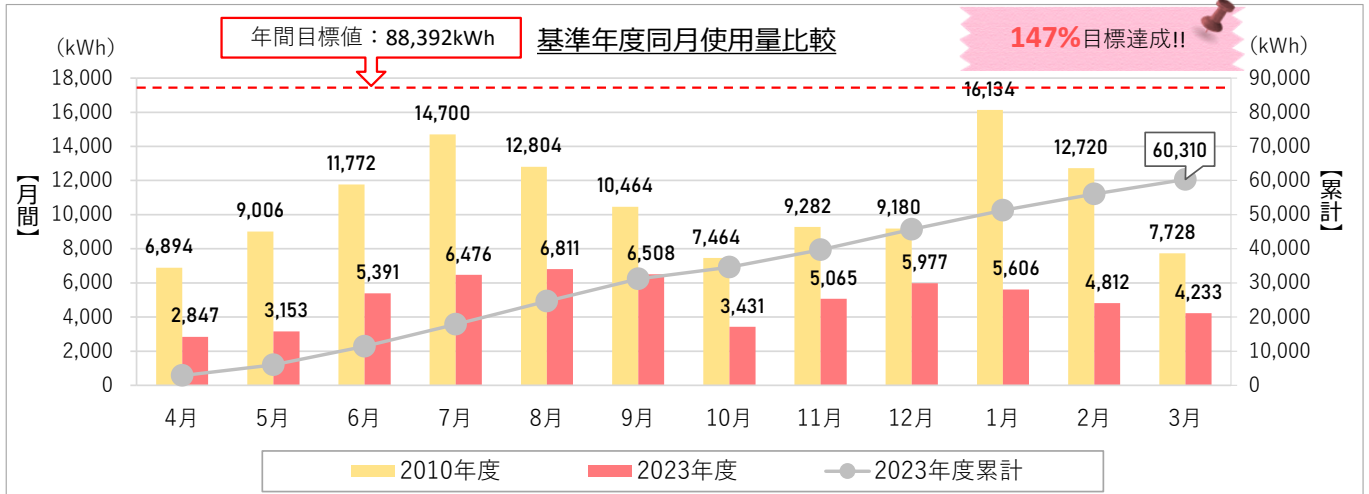
■二酸化炭素排出量



※化石燃料使用量について、2014年度より日高工場と川下工場の実績値を分配した為、2014年と比較



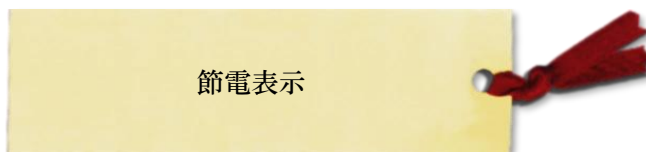
①電気使用量



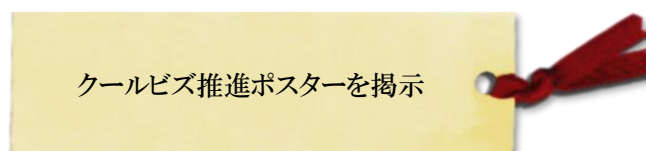
※2011年度は3か月分の電気使用量

◆取組項目

- ①-1 ・事務所・現場の照明は、昼休み・残業時等不必要な時は消灯する
・食堂・トイレ等の照明は、普段は消灯し、使用時のみ点灯する



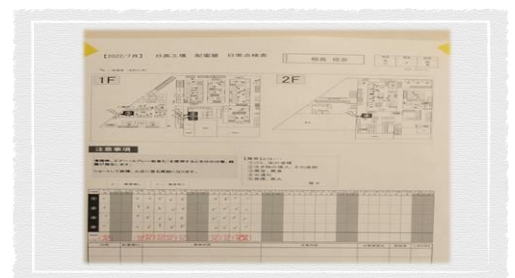
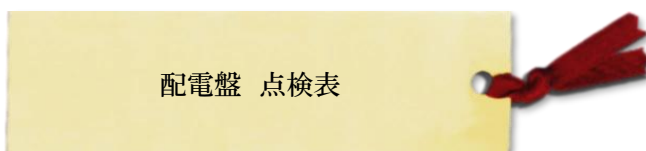
- ①-4 ・夏季における軽装(クールビズ)の推進



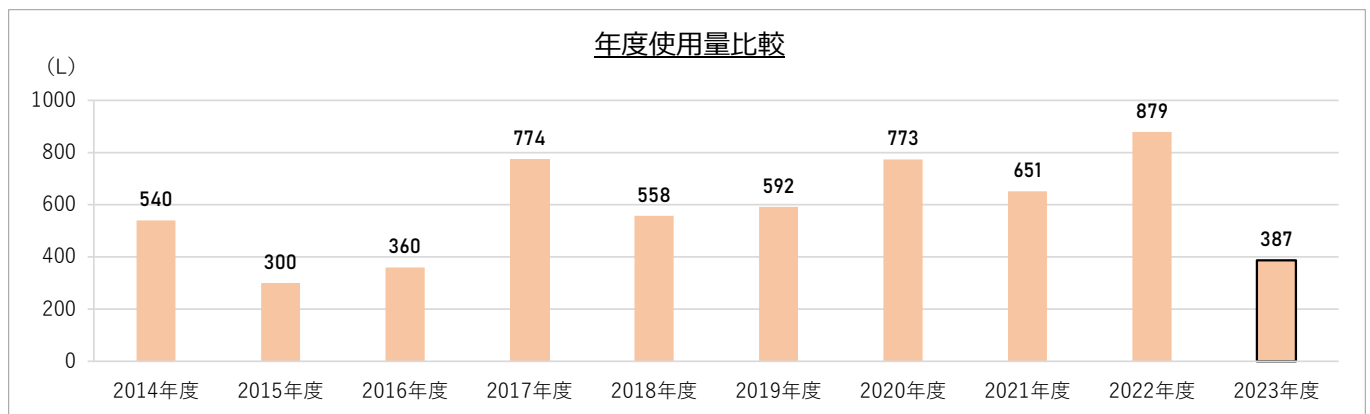
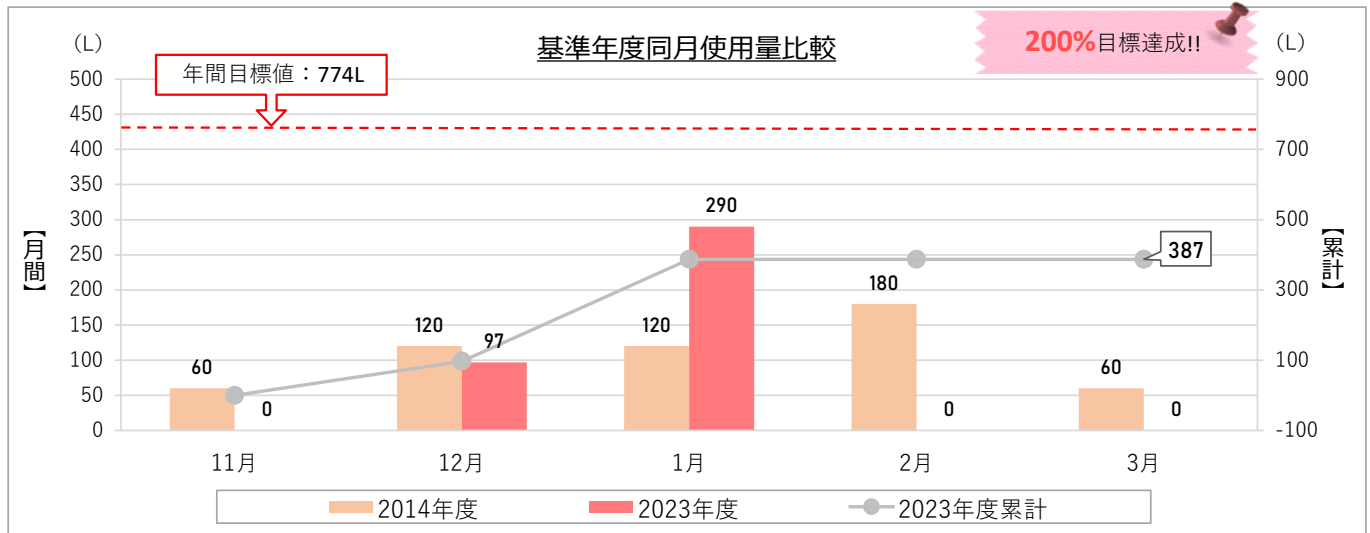
SDGsロゴマーク



- ①-5 ・電力不要時は、負荷遮断、変圧器の遮断を行う

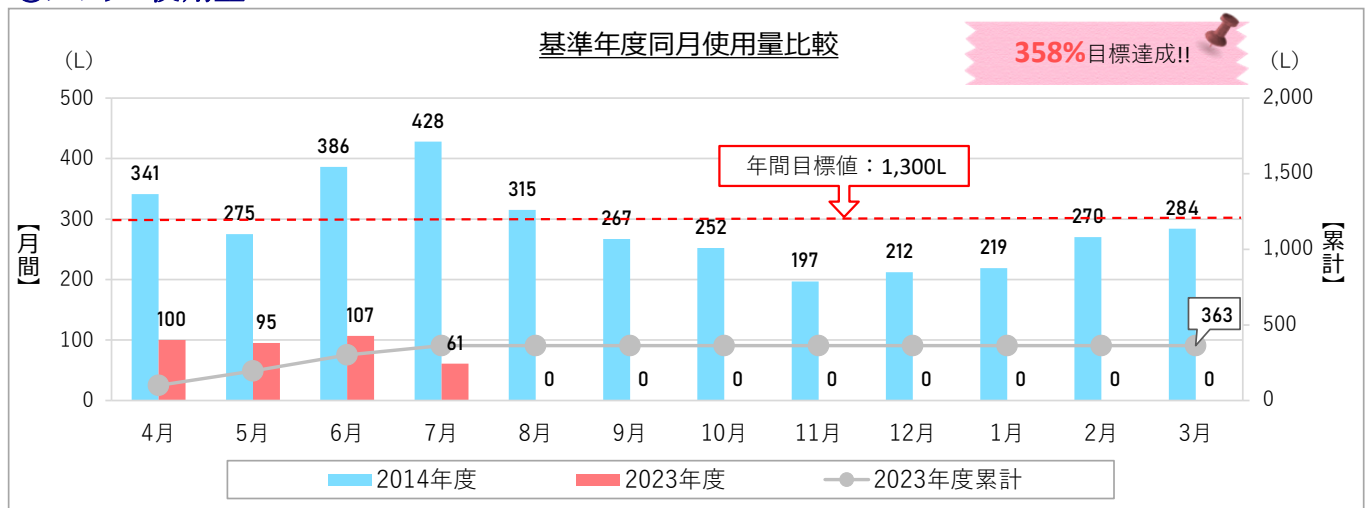


②灯油使用量

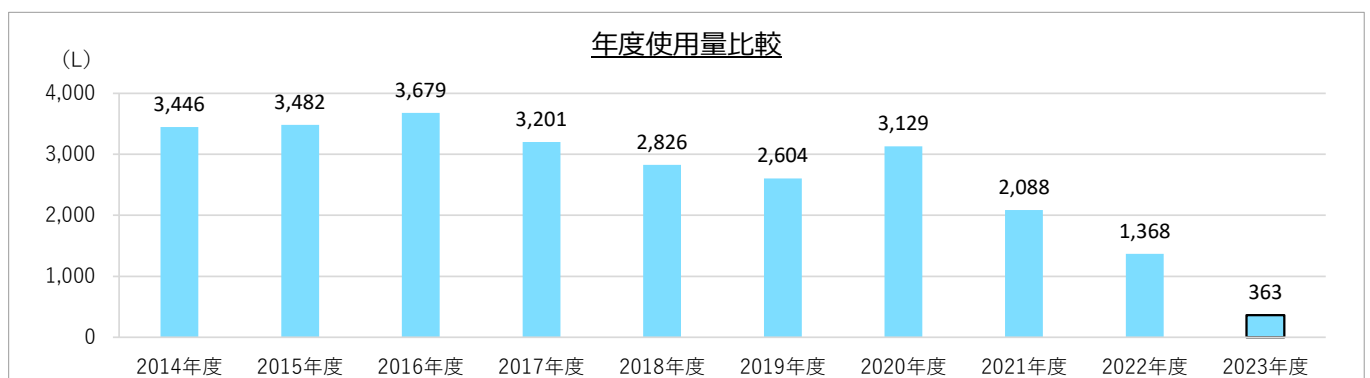


※化石燃料使用量について、2014年度より日高工場と川下工場の実績値を分配した為、2014年と比較

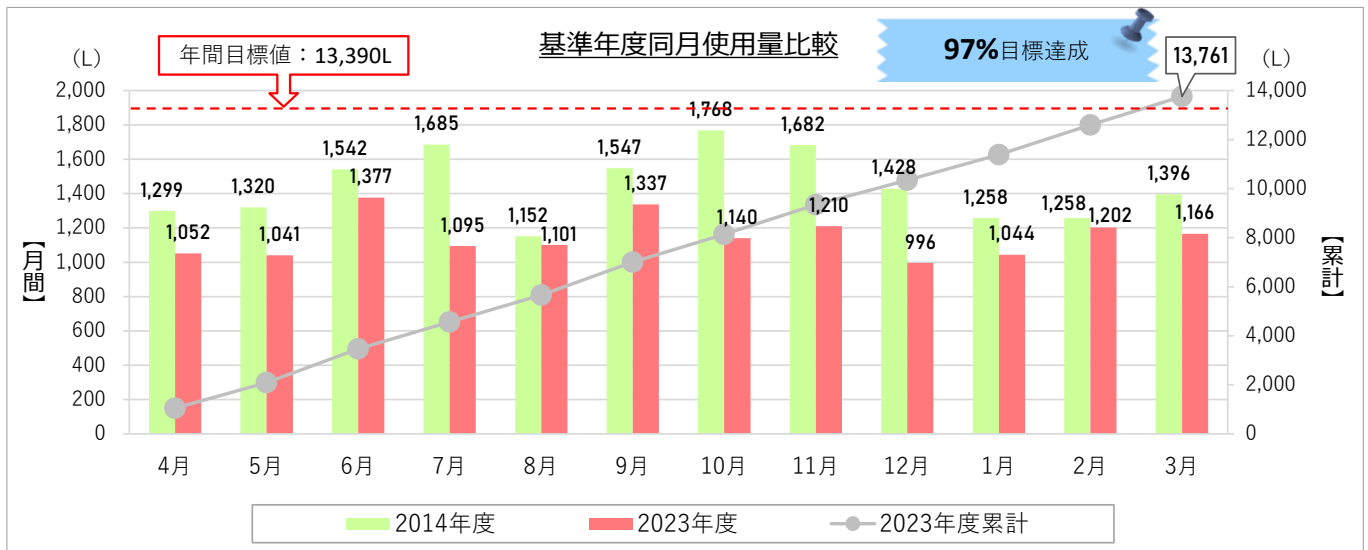
③ガソリン使用量



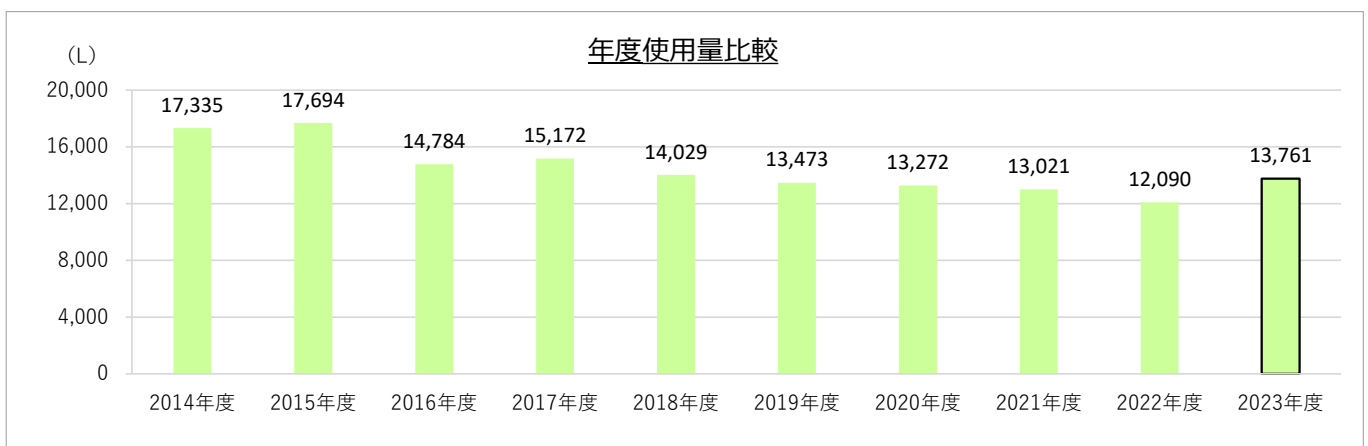
※化石燃料使用量について、2014年度より日高工場と川下工場の実績値を分配した為、2014年と比較



④軽油使用量



※化石燃料使用量について、2014年度より日高工場と川下工場の実績値を分配した為、2014年と比較



◆取組項目

③-1 ・エコドライブ等、運転方法の配慮を厳行する



◆取組結果の評価

判定

1. 目標値の見直し(電気使用量:年間予定出荷台数を基に算出、ガソリン:社用車の配置変更の為)

△

2. 感染症対策の換気もあり、夏季は熱中症予防の水分補給にも注意して取り組んだ

○

3. コロナとインフルエンザ対策の換気も行っていたが、暖冬の影響もあり灯油使用量は、大幅な達成となった

○

◆取組結果への対策

I	感染症対策の換気以外、ドアや窓を開けっ放しにしない
II	重ね着をする(ウォームビス推進)
III	レイアウト変更の為、扇風機の新規設置・増設を行い、空気を循環させる

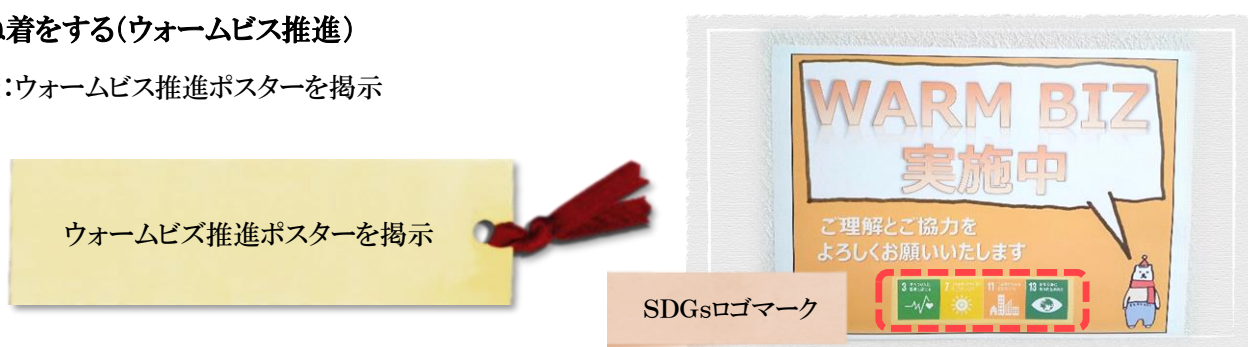
I. ドアや窓を開けっ放しにしない

対策: ドア開閉時にビニールカーテンの使用を徹底する



II. 重ね着をする(ウォームビス推進)

対策: ウォームビス推進ポスターを掲示



III. レイアウトの変更を行った為、扇風機の新規設置・増設を行い、空気を循環させる



川下工場

項目	目標の目安(指標)
二酸化炭素排出量	418 kg-CO ₂ /稼働日数
① 電気使用量	177,031 kWh
② 灯油使用量	2,812 L
③ ガソリン使用量	1,400 L
④ 軽油使用量	2,911 L
稼働日数	250

責任者:EA担当リーダー 担当者:EA担当

実績値	達成率(%)	達成状況
390	107%	○
155,696	114%	○
3,700	76%	×
1,550	90%	×
3,151	92%	×
稼働日数		249

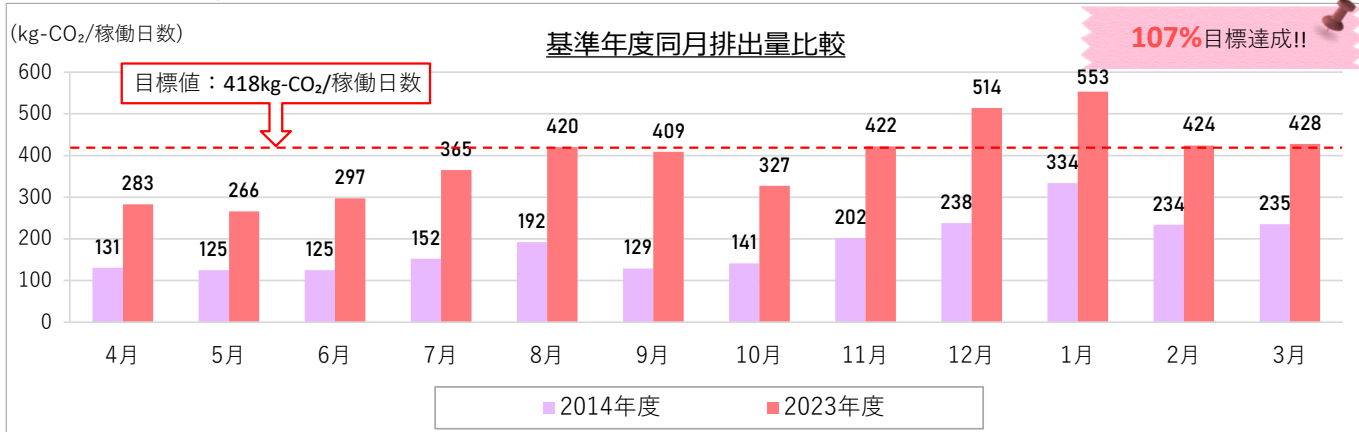
【達成状況の判定】 ○: 達成率≥100% △: 100>達成率≥95 ×: 達成率<95 * 達成率=目安÷実績×100

※化石燃料使用量について、2014年度より日高工場と川下工場の実績値を分配

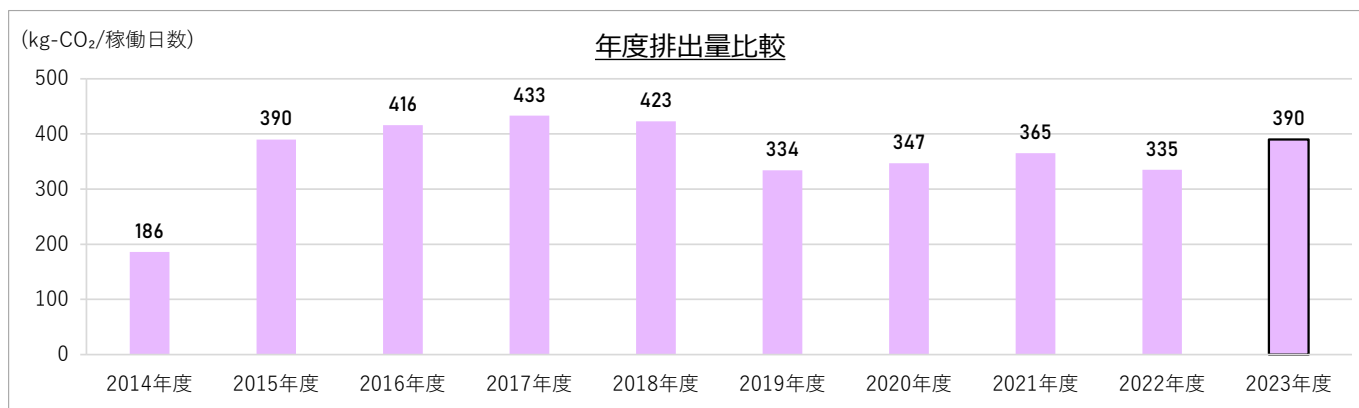
取組目標	活動項目	実施状況
① 電気使用量の1%削減	1 事務所・現場の照明は、昼休み・残業時等不必要な時は消灯する	○
	2 食堂・トイレ等の照明は、普段は消灯し、使用時のみ点灯する	○
	3 夏季における軽装(クールビズ)の推進	○
	4 OA機器(パソコン)は省電力設定にする	○
	5 コンプレッサーのエアリーク点検	○
② 灯油使用量の1%削減	1 感染症対策の換気以外、ドアや窓を開けっ放しにしない	○
	2 重ね着をする(ウォームビズ推進)	○
③ ガソリン使用量の1%削減	1 エコドライブ等、運転方法の配慮を厳行する	○
	2 配送(社用車)の無駄をなくす	○
④ 軽油使用量の1%削減	1 エコドライブ等、運転方法の配慮を励行する	○

【実施状況の判定】 ○: 実行されている △: 実行されているが十分でない ×: 実行されていない -: 判定できない、該当しない

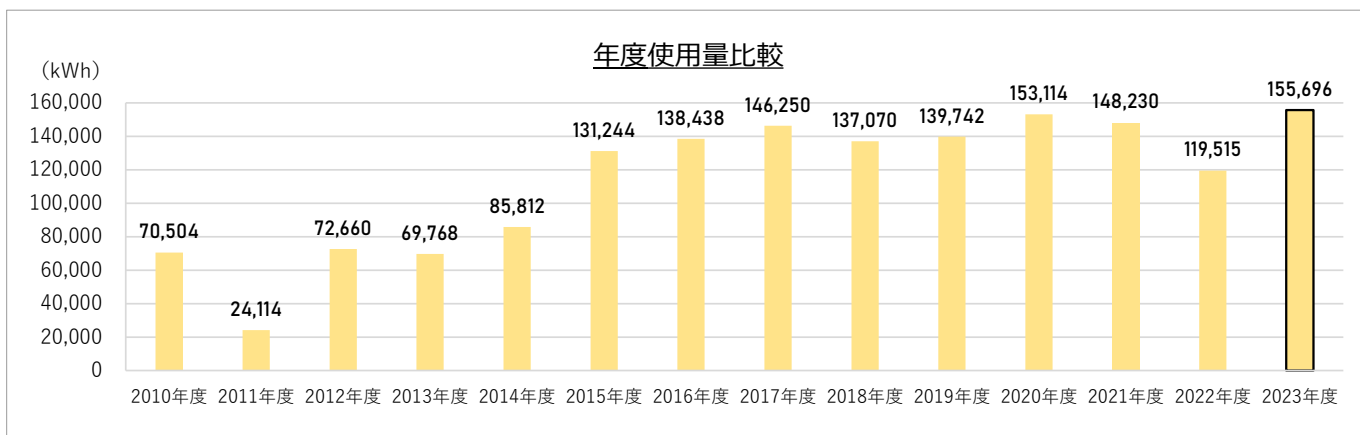
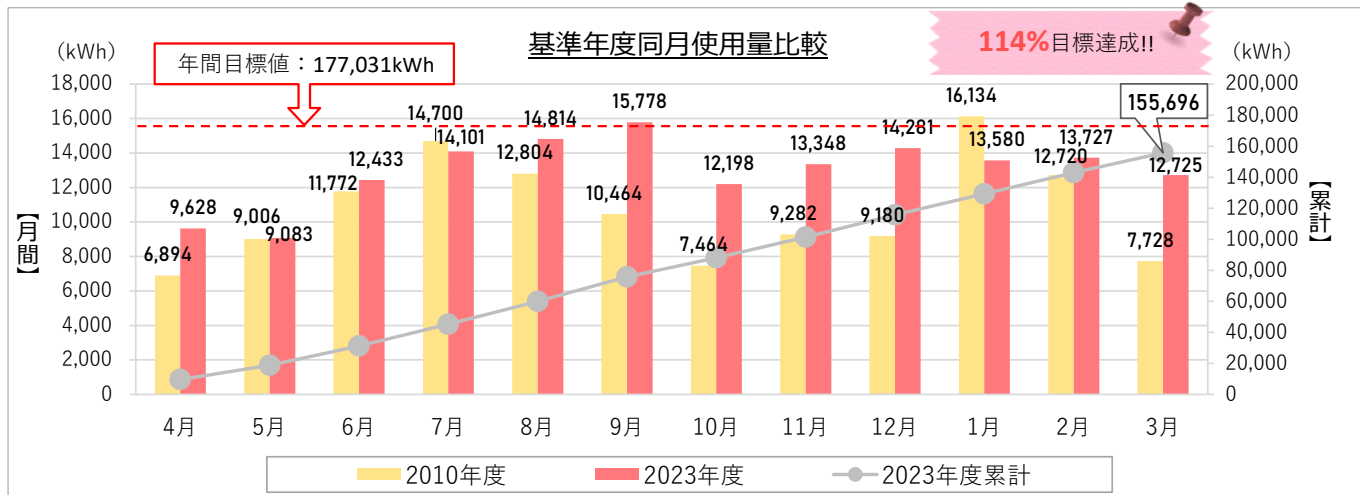
■二酸化炭素排出量



※化石燃料使用量について、2014年度より日高工場と川下工場の実績値を分配した為、2014年と比較



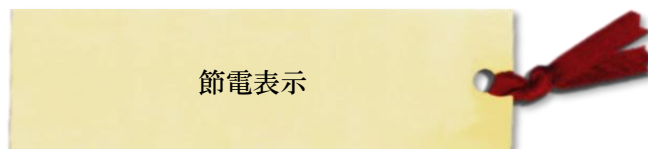
①電気使用量



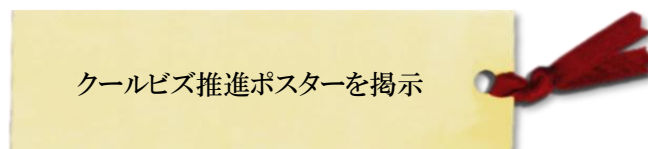
※2011年度は3か月分の電気使用量

◆取組項目

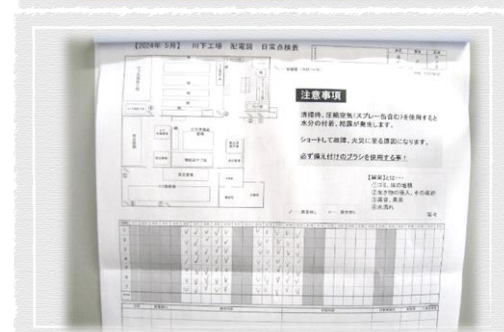
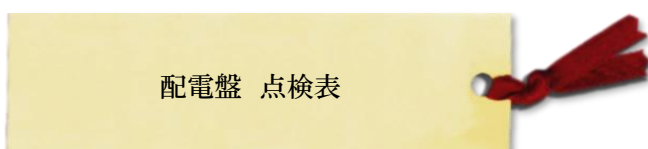
- ①-1 ・事務所・現場の照明は、昼休み・残業時等不必要な時は消灯する
- ・食堂・トイレ等の照明は、普段は消灯し、使用時のみ点灯する



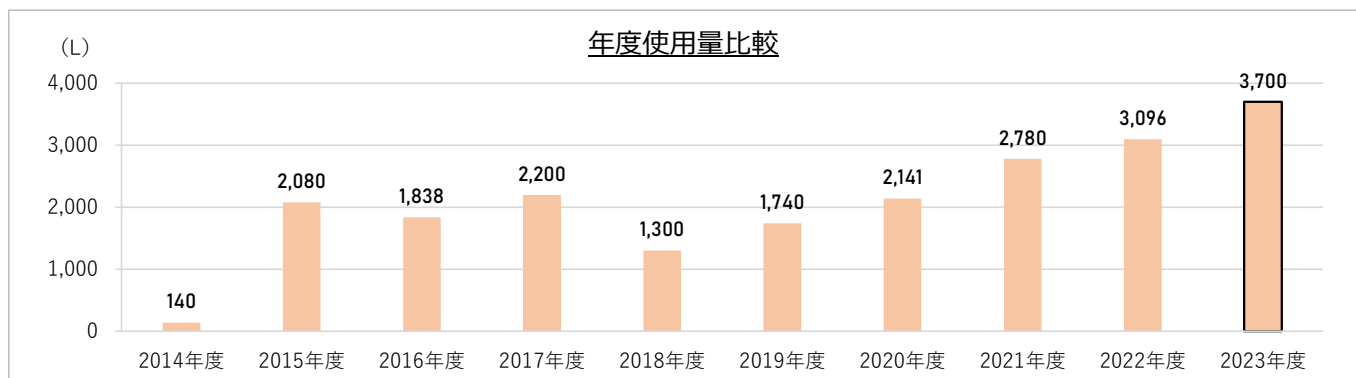
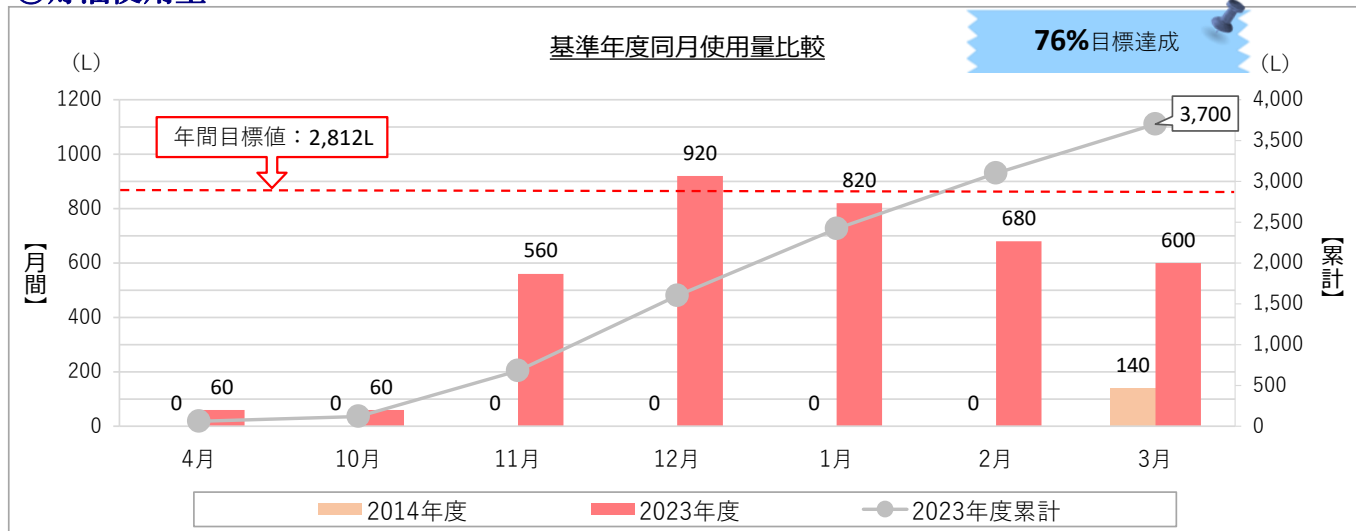
- ①-3 ・夏季における軽装(クールビズ)の推進



- ① ・電力不要時は、負荷遮断、変圧器の遮断を行う

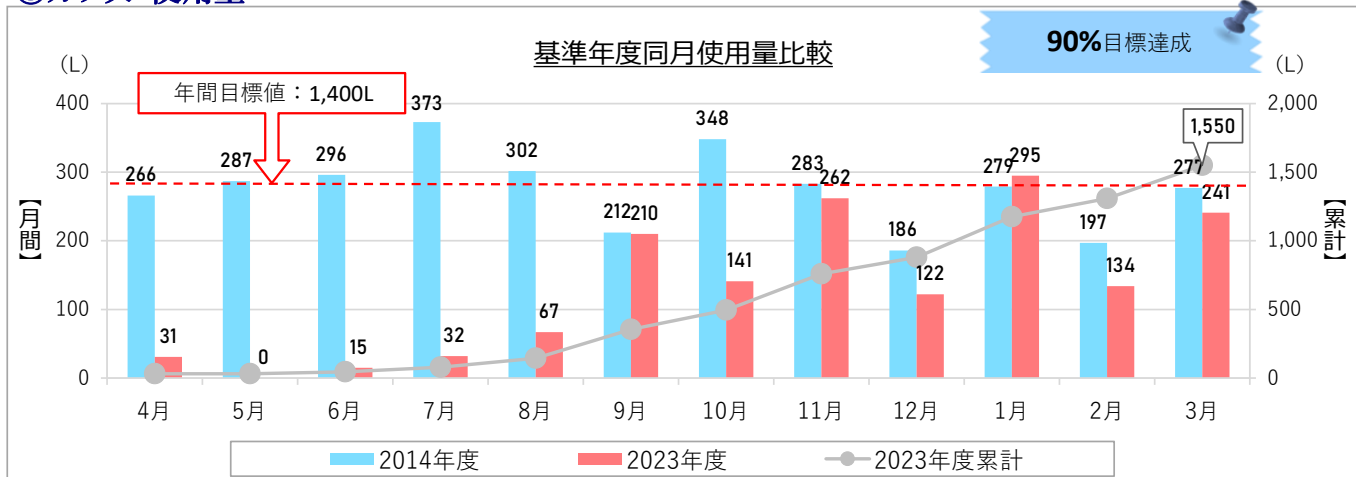


②灯油使用量

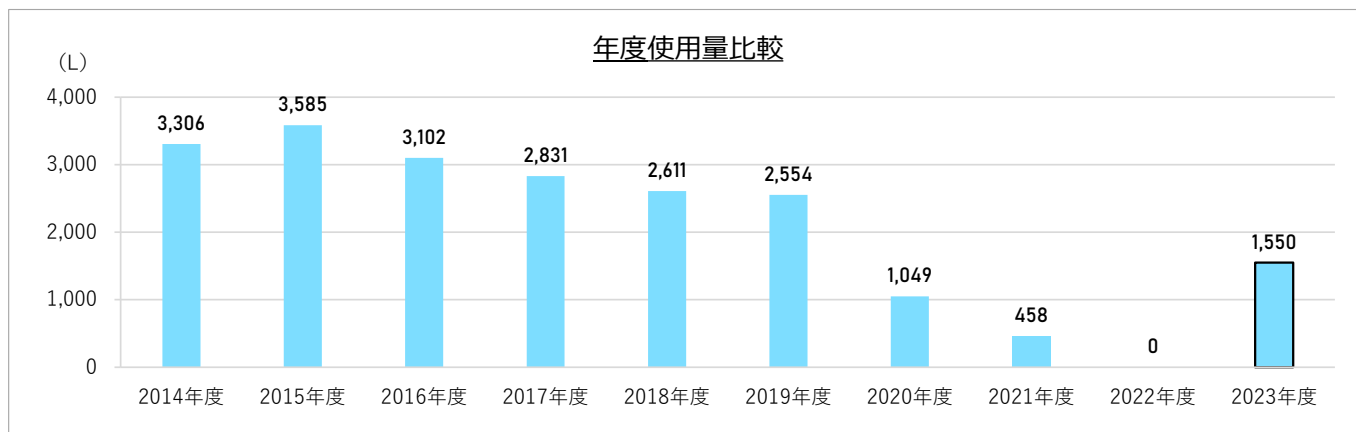


※化石燃料使用量について、2014年度より日高工場と川下工場の実績値を分配した為、2014年と比較

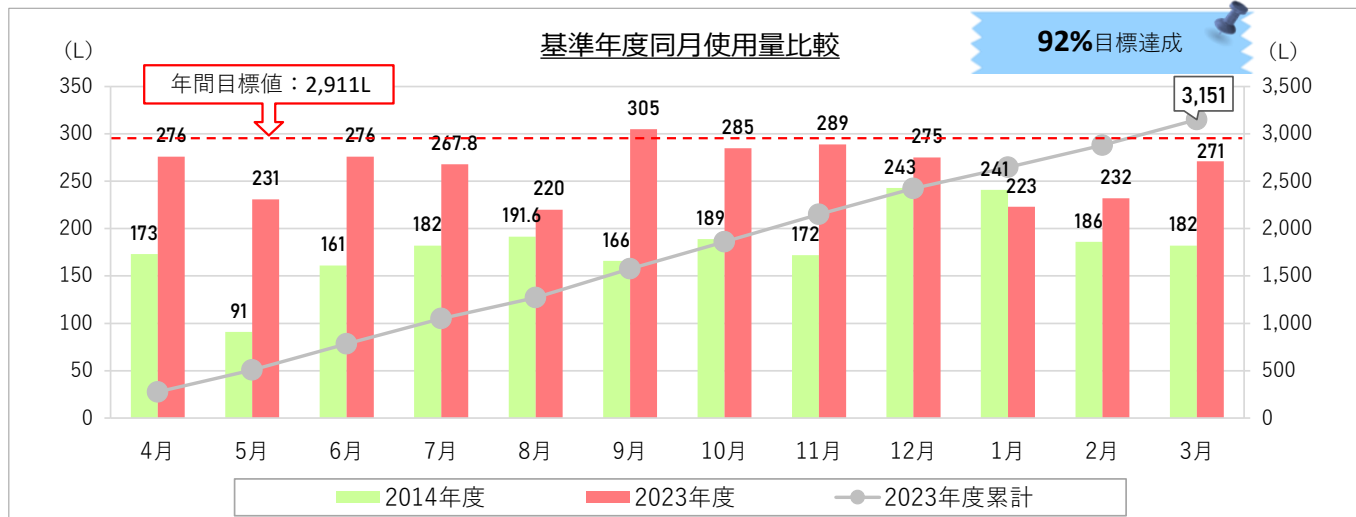
③ガソリン使用量



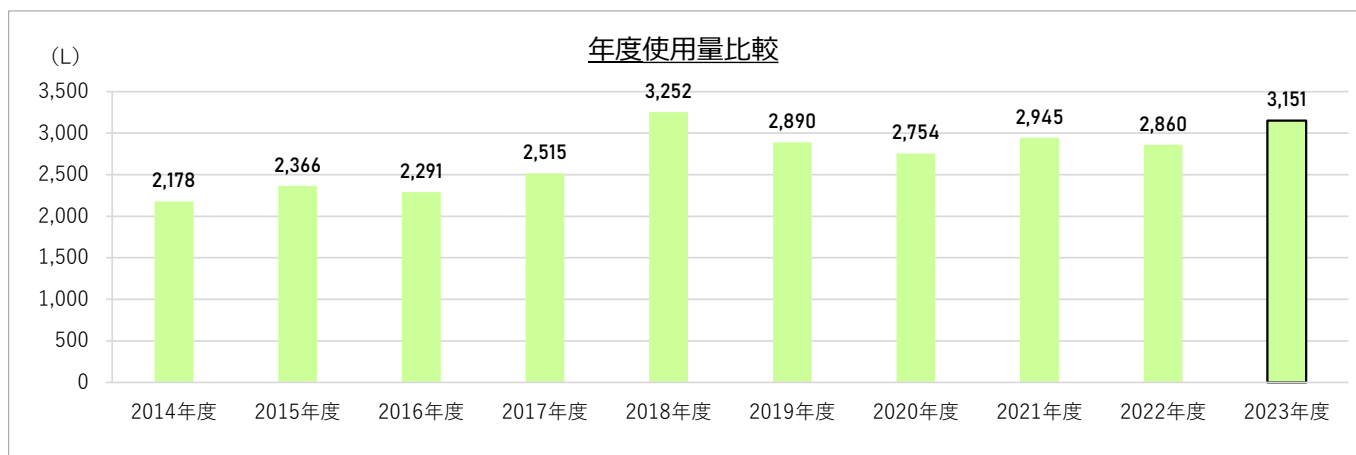
※化石燃料使用量について、2014年度より日高工場と川下工場の実績値を分配した為、2014年と比較



④軽油使用量



※化石燃料使用量について、2014年度より日高工場と川下工場の実績値を分配した為、2014年と比較



◆取組項目

③-1 ・エコドライブ等、運転方法の配慮を厳行する



◆取組結果の評価

判定

1. 目標値の見直し(電気使用量:年間予定出荷台数を基に算出)

-

2. 12月に裁断機を導入し、2台体制となった。来期の電気・灯油使用量の変動に注視する

-

3. ガソリン・軽油使用量が未達成だったが、来期に社用車の変更や配送ルートの変更がある予定

△

◆取組結果への対策

I	感染症対策の換気以外、ドアや窓を開けっ放しにしない
II	重ね着をする(ウォームビス推進)
III	不要な電気は消灯する

I. ドアや窓を開けっ放しにしない

対策: ドア開閉時にビニールカーテンの使用を徹底する



II. 重ね着をする(ウォームビス推進)

対策: ウォームビス推進ポスターを掲示



III. 不要な電気は消灯する



2-1) 産業廃棄物のリサイクル推進

本 社

責任者:EA担当 担当者:EA担当

項 目	目標の目安(指標)	実績値	達成率(%)	達成状況
産業廃棄物リサイクル率	100 %	-	-	-
産業廃棄物排出量(t)		-		

【達成状況の判定】 ○: 達成率≥100% △: 100>達成率≥95 ×: 達成率<95 *達成率=目安÷実績×100

取組目標	活動項目	実施状況
1 リサイクル率(100%)の推進	マニフェストをもとに廃棄物の適正な処理を行う	-

【実施状況の判定】 ○: 実行されている △: 実行されているが十分でない ×: 実行されていない -: 判定できない、該当しない

2-2) 一般廃棄物排出量の1%削

本 社

責任者:EA担当 担当者:EA担当

項 目	目標の目安(指標)	実績値	達成率(%)	達成状況
一般廃棄物排出量	※ 同一建物内でウレタン部門を”やわらか製作所(株)”と分社化し、環境負荷を分けることが出来ない為、数値目標は立てず活動を行う			

【達成状況の判定】 ○: 達成率≥100% △: 100>達成率≥95 ×: 達成率<95 *達成率=目安÷実績×100

取組目標	活動項目	実施状況
1 一般廃棄物排出量の1%削減	1 活用できる裏紙の利用	○
	2 両面使用済みのコピー用紙はリサイクル処理する。重要書類はシュレッダーにかけ、袋に入れてリサイクル処理する。	○
	3 使用後の製品、容器包装等の回収・リサイクルを行う	○

【実施状況の判定】 ○: 実行されている △: 実行されているが十分でない ×: 実行されていない -: 判定できない、該当しない

◆取組結果の評価

判定

1 やわらか製作所より回収した裏紙やコピー用紙、郵便物の封筒、段ボール等の再利用を継続出来た

○

2 引き続き、印刷の必要のないものはデータで共有した

○

◆取組結果への対策

I 再利用可能・不可能な用紙、封筒を分別する

I. 再利用可能・不可能な用紙、封筒を分別する。

対策:裏紙用回収ボックスを設置する。



裏紙

封筒



2-1) 産業廃棄物のリサイクル推進

日高工場

責任者:工場長 担当者:EA担当

項目	目標の目安(指標)	実績値	達成率(%)	達成状況
産業廃棄物リサイクル率	- %	-	-	-
産業廃棄物排出量(t)	-	-	-	-

【達成状況の判定】 ○: 達成率≥100% △: 100> 達成率≥95 ×: 達成率<95 * 達成率= 目安÷実績×100

取組目標	活動項目	実施状況
1 リサイクル率(100%)の推進	マニフェストをもとに廃棄物の適正な処理を行う	-

【実施状況の判定】 ○: 実行されている △: 実行されているが十分でない ×: 実行されていない -: 判定できない、該当しない

2-2) 一般廃棄物排出量の1%削

日高工場

責任者:工場長 担当者:EA担当

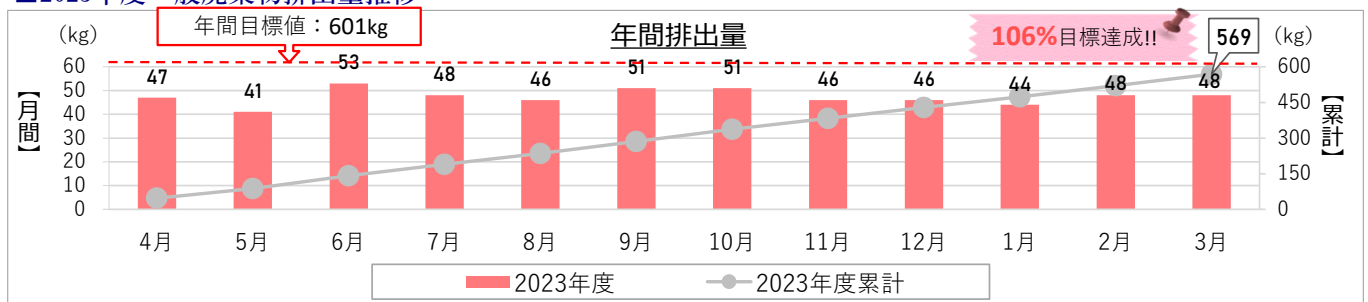
項目	目標の目安(指標)	実績値	達成率(%)	達成状況
一般廃棄物排出量	601 kg	569	106%	○

【達成状況の判定】 ○: 達成率≥100% △: 100> 達成率≥95 ×: 達成率<95 * 達成率= 目安÷実績×100

取組目標	活動項目	実施状況
1 一般廃棄物排出量の1%削減	1 活用できる裏紙の利用	○
	2 両面使用済みのコピー用紙はリサイクル処理する。重要書類はシュレッダーにかけ、袋に入れてリサイクル処理する。	○
	3 発生したゴミは可能な限り、圧縮等を行い減量する	○
	4 会議用資料や事務手続書類の集約化及び電子化を行う	○

【実施状況の判定】 ○: 実行されている △: 実行されているが十分でない ×: 実行されていない -: 判定できない、該当しない

2023年度一般廃棄物排出量推移



◆取組結果の評価

判定

1 現場から持ち込まれる用紙の再利用、会議の電子化

○

2 会議資料については、プロジェクターを導入した

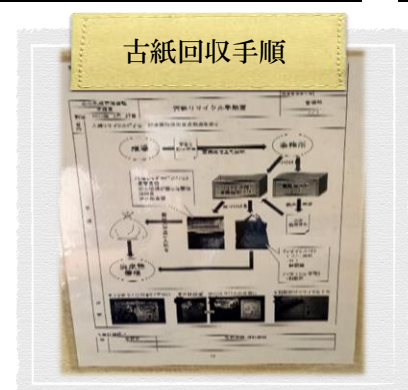
○

◆取組結果への対策

I 再利用可能・不可能な用紙を分別する

I. 再利用可能・不可能な用紙、封筒を分別する。

対策: 裏紙用回収ボックスを設置する。



2-1)産業廃棄物のリサイクル推進

川下工場

責任者:EA担当リーダー 担当者:EA担当

項目	目標の目安(指標)	実績値	達成率(%)	達成状況
産業廃棄物リサイクル率	100 %	100%	100%	○
産業廃棄物排出量(t)		115.19		

【達成状況の判定】 ○:達成率≥100% △:100>達成率≥95 ×:達成率<95 *達成率=目安÷実績×100

取組目標	活動項目	実施状況
1 リサイクル率(100%)の推進	マニフェストをもとに廃棄物の適正な処理を行う	○

【実施状況の判定】 ○:実行されている △:実行されているが十分でない ×:実行されていない -:判定できない、該当しない

2-2)一般廃棄物排出量の1%削

川下工場

責任者:EA担当リーダー 担当者:EA担当

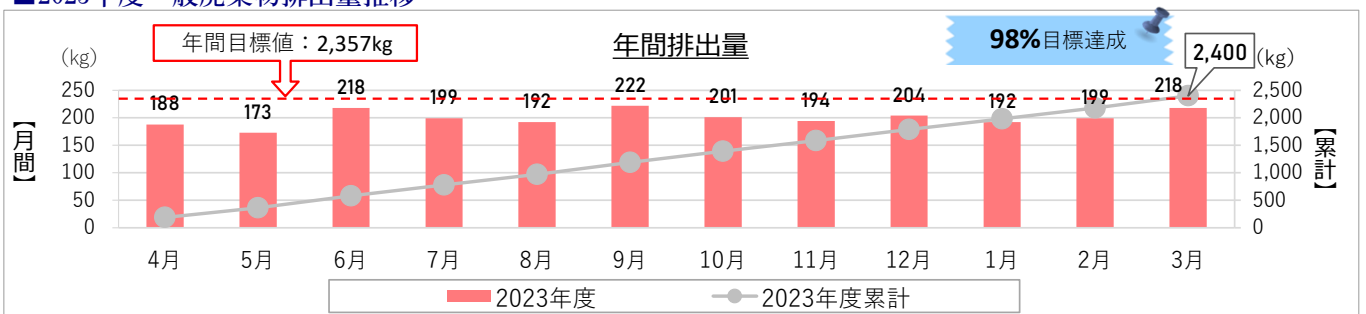
項目	目標の目安(指標)	実績値	達成率(%)	達成状況
一般廃棄物排出量	2,357 kg	2,399	98%	△

【達成状況の判定】 ○:達成率≥100% △:100>達成率≥95 ×:達成率<95 *達成率=目安÷実績×100

取組目標	活動項目	実施状況
1 一般廃棄物排出量の1%削減	1 活用できる裏紙の利用	○
	2 使用済み封筒の再利用	○
	3 両面使用済みのコピー用紙はリサイクル処理する。重要書類はシュレッダーにかけ、袋に入れてリサイクル処理する。	○
	4 使用後の製品、容器包装等の回収・リサイクルを行う	○

【実施状況の判定】 ○:実行されている △:実行されているが十分でない ×:実行されていない -:判定できない、該当しない

2023年度一般廃棄物排出量推移



◆取組結果の評価

判定

1 産業廃棄物のリサイクル率100%達成	○
2 一般廃棄物排出量1%削減の目標を概ね達成できた	○
3 社内用の用紙は低コストのコピー用紙へ変更、用紙の再利用、会議の電子化	○

◆取組結果への対策

I 再利用可能・不可能な用紙を分別する
I 産業廃棄物の処理方法の確認を行う。
I 対策:マニフェストを毎月確認する。



3)水使用量の現状維持

本 社

責任者:EA担当 担当者:EA担当

取組目標	活動項目	実施状況
水使用量の現状維持	節水をする	○

【実施状況の判定】 ○:実行されている △:実行されているが十分でない ×:実行されていない -:判定できない、該当しない

◆取組結果の評価

1	やわらか製作所の方と協力し、節水を意識して取り組んでいる	判定 ○
---	------------------------------	---------

◆取組結果への対策

I	節水ポスターを掲示する
---	-------------



日高工場

責任者:工場長 担当者:EA担当

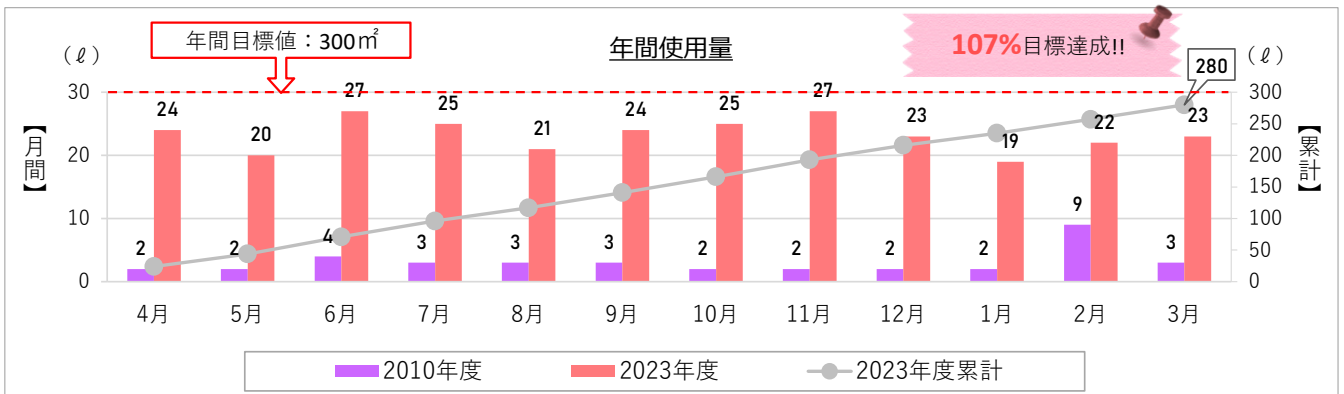
項 目	目標の目安(指標)	実績値	達成率(%)	達成状況
水使用量	300 m³	280	107%	○

【達成状況の判定】 ○:達成率≥100% △:100>達成率≥95 ×:達成率<95 *達成率=目安÷実績×100

取組目標	活動項目	実施状況
水使用量の現状維持	1 検針票を見て、漏水のチェックを行う	○

【実施状況の判定】 ○:実行されている △:実行されているが十分でない ×:実行されていない -:判定できない、該当しない

■基準年度同月使用量比較



◆取組結果の評価

1	今期で実績値に近い目標に変更したが、従業員数が減少したこともあり、達成できた	判定 ○
---	--	---------

◆取組結果への対策

I	水流し音発生器の設置
---	------------



川下工場

責任者:EA担当リーダー 担当者:EA担当

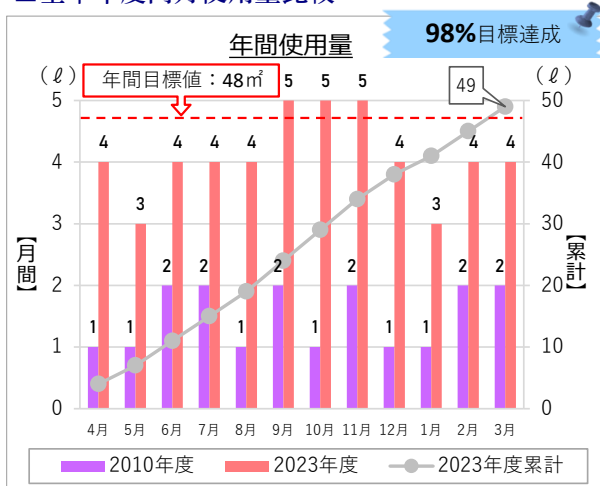
項目	目標の目安(指標)	実績値	達成率(%)	達成状況
水使用量	48 m ³	49	98%	△

【達成状況の判定】 ○: 達成率≥100% △: 100>達成率≥95 ×: 達成率<95 * 達成率=目安÷実績×100

取組目標	活動項目	実施状況
水使用量の現状維持	1 水流し音発生器の使用によるトイレ用水の節水	○

【実施状況の判定】 ○: 実行されている △: 実行されているが十分でない ×: 実行されていない -: 判定できない、該当しない

■基準年度同月使用量比較



◆取組結果の評価

判定

1 年間を通して概ね達成できた

△

◆取組結果への対策

I 水流し音発生器の設置



4)グリーン購入の推進

本 社

責任者:EA担当 担当者:EA担当

取組目標	活動項目	実施状況
グリーン購入の推進	事務用品はエコ商品を購入する	○

【実施状況の判定】 ○: 実行されている △: 実行されているが十分でない ×: 実行されていない -: 判定できない、該当しない

日高工場

責任者:工場長 担当者:EA担当

取組目標	活動項目	実施状況
グリーン購入の推進	事務用品はエコ商品を購入する	○

【実施状況の判定】 ○: 実行されている △: 実行されているが十分でない ×: 実行されていない -: 判定できない、該当しない

川下工場

責任者:EA担当リーダー 担当者:EA担当

取組目標	活動項目	実施状況
グリーン購入の推進	事務用品はエコ商品を購入する	○

【実施状況の判定】 ○: 実行されている △: 実行されているが十分でない ×: 実行されていない -: 判定できない、該当しない

◆取組結果の評価

判定

1 社内規定を守り、購入できた

○

◆取組結果への対策

I 購入時、エコマークを確認する



5-1) 工場周辺の清掃活動

本 社

責任者:EA担当 担当者:EA担当

項 目	目標値	実績値	達成率(%)	達成状況
工場周辺清掃活動	月 1 回	毎月1回実施	100%	○

【達成状況の判定】 ○: 達成率≥100% △: 100>達成率≥95 ×: 達成率<95 *達成率=目安÷実績×100

取組目標	活動項目	実施状況
工場周辺の清掃活動を行う	月に1回、工場周辺の清掃活動を行う	○

【実施状況の判定】 ○: 実行されている △: 実行されているが十分でない ×: 実行されていない -: 判定できない、該当しない

■清掃活動の様子



◆取組結果の評価

判定

1 昨年度までは感染症対策の為、中止していた清掃活動を再開した。個人で出来る取り組みも続けている

○

◆取組結果への対策

I 少人数の為、やわらか製作所の方と協力して取り組んだ

5-2) 地域の活動に参加

本 社

責任者:EA担当 担当者:EA担当

項 目	目標値	実績値	達成率(%)	達成状況
地域の活動に参加	-	-	-	○

【達成状況の判定】 ○: 達成率≥100% △: 100>達成率≥95 ×: 達成率<95 *達成率=目安÷実績×100

取組目標	活動項目	実施状況
地域の活動に参加する	地域のボランティア活動に積極的に参加する	×
	ペットボトルのキャップ・空き缶のプルタブの回収	○

【実施状況の判定】 ○: 実行されている △: 実行されているが十分でない ×: 実行されていない -: 判定できない、該当しない

◆取組結果の評価

判定

1 ペットボトルのキャップ、空き缶のプルタブの回収を行った

○

◆取組結果への対策

I 今取り組んでいるものは継続して行い、参加できそうな取り組みの情報収集をする

5-1) 工場周辺の清掃活動

日高工場

責任者:工場長 担当者:EA担当

項目	目標値	実績値	達成率(%)	達成状況
工場周辺清掃活動	月 1 回	毎月1回実施	100%	○

【達成状況の判定】 ○: 達成率≥100% △: 100>達成率≥95 ×: 達成率<95 *達成率=目安÷実績×100

取組目標	活動項目	実施状況
工場周辺の清掃活動を行う	月に1回、工場周辺の清掃活動を行う	○

【実施状況の判定】 ○: 実行されている △: 実行されているが十分でない ×: 実行されていない -: 判定できない、該当しない



◆取組結果の評価

判定

1 昨年度までは感染症対策の為、中止していた清掃活動を再開した。個人で出来る取り組みも続けている

○

◆取組結果への対策

I 梅雨や夏の熱中症対策の必要な時期は、屋内活動も視野に取り組んでいく

5-2) 地域の活動に参加

日高工場

責任者:工場長 担当者:EA担当

項目	目標値	実績値	達成率(%)	達成状況
地域の活動に参加	-	-	-	○

【達成状況の判定】 ○: 達成率≥100% △: 100>達成率≥95 ×: 達成率<95 *達成率=目安÷実績×100

取組目標	活動項目	実施状況
地域の活動に参加する	地域のボランティア活動に積極的に参加する	×
	ペットボトルのキャップ・空き缶のプルタブの回収	○

【実施状況の判定】 ○: 実行されている △: 実行されているが十分でない ×: 実行されていない -: 判定できない、該当しない

◆取組結果の評価

判定

1 ペットボトルキャップ・プルタブの回収を継続出来た。個人ではオンラインチャリティ等に取り組んだ

○

◆取組結果への対策

I 今取り組んでいるものは継続して行い、参加できそうな取り組みの情報収集をする

5-1) 工場周辺の清掃活動

川下工場

責任者:EA担当リーダー 担当者:EA担当

項目	目標値	実績値	達成率(%)	達成状況
工場周辺清掃活動	月 1 回	毎月1回実施	100%	○

【達成状況の判定】 ○: 達成率≥100% △: 100>達成率≥95 ×: 達成率<95 *達成率=目安÷実績×100

取組目標	活動項目	実施状況
工場周辺の清掃活動を行う	月に1回、工場周辺の清掃活動を行う	○

【実施状況の判定】 ○: 実行されている △: 実行されているが十分でない ×: 実行されていない -: 判定できない、該当しない

■清掃活動の様子



◆取組結果の評価

判定

1 昨年度までは感染症対策の為、中止していた清掃活動を再開した。個人で出来る取り組みも続けている

○

◆取組結果への対策

I 月一回の清掃活動を実施できている

5-2) 地域の活動に参加

川下工場

責任者:EA担当リーダー 担当者:EA担当

項目	目標値	実績値	達成率(%)	達成状況
地域の活動に参加	-	-	-	○

【達成状況の判定】 ○: 達成率≥100% △: 100>達成率≥95 ×: 達成率<95 *達成率=目安÷実績×100

取組目標	活動項目	実施状況
地域の活動に参加する	地域のボランティア活動に積極的に参加する	×
	ペットボトルのキャップ・空き缶のプルタブの回収	○

【実施状況の判定】 ○: 実行されている △: 実行されているが十分でない ×: 実行されていない -: 判定できない、該当しない

◆取組結果の評価

判定

1 ペットボトルキャップ・プルタブの回収は継続出来た

○

◆取組結果への対策

I 今取り組んでいるものは継続して行い、参加できそうな取り組みの情報収集をする

弊社における取組

5-2) 地域の活動に参加

継続して実施している活動

I) 収集活動に参加

取引先であるトヨタ紡織九州様がボランティア活動の一環として収集活動を行っているのと同じ弊社でも参加をしています。

現在、事務所や休憩所等にペットボトルのキャップと缶のプルタブ回収BOXを設置し、収集活動を行っております。

また、トヨタ紡織九州様の春と夏に行われる海外救援衣料支援活動にも参加予定です。

▼海外救援衣料支援活動の案内

ボランティアセンターからのお知らせ

＜海外救援衣料支援活動実施のご案内＞

当社における社会貢献活動の一環として、「海外の難民地域への海外救援衣料支援活動」を実施致します。

皆様方のご協力、お待ちしております。

実施期間： 10月8日（火）～ 11月7日（木）

回収場所： [本社工場] 食堂、守衛室
[宮田工場] 食堂

区分	対象品
新品	下着、靴下、パジャマ、タオル
洗濯済	ブラウス、カーディガン、ジャンパー
企業制服	オーバーコート
	ブラウス、カーディガン、新品作業服

■下記の衣料等は対象外となりますのでご注意ください

ジャケット（スーツ、ブレザー）
スカート、和服、ベビー服、布巾
小物（ネクタイ、帽子、マフラー） 他

■子ども服はサイズ80cm以上の上下分かれたものからの対象となります。

■シミ、傷みのないものでお願いします。

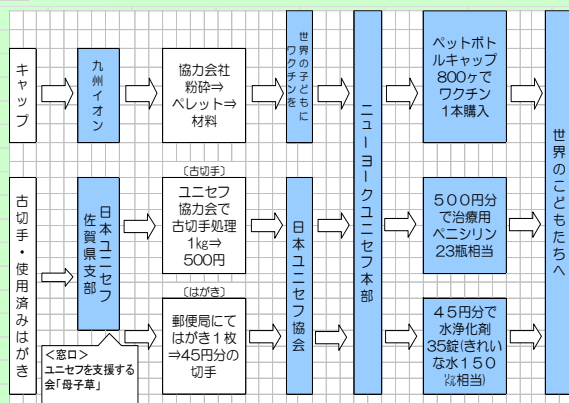
～回収方法～

- ①直接お持ちいただく場合：総務室 栗崎 までご連絡ください。
 - ②納入便を利用の場合：衣料支援の旨を明確にし、積載ください。
- 注）①、②いずれも下記「救援衣料発送書」を記入し、貼付願います。



▼収集物活用フロー

①ペットボトルのフタ



②使用済みの切手

③書き損じのはがき

④缶のプルトップ

地域の社会福祉団体等に寄贈（運営費に活用）

今年度の活動

人事評価制度発表会



人事評価制度についての発表会を行いました。
人事評価制度とは、社員一人ひとりの働きぶりや技術、パフォーマンスを総合的に評価して、等級・給与・賞与に反映する仕組みです。

NC裁断機を導入



弊社既存の裁断機に比べ、作業効率と製品品質が格段にアップし、廃棄部分の減少を目指します。廃棄部分の減少は、その処分に伴うCO2削減にもつながります。

6)化学物質の適正管理

川下工場

弊社では、車両用シート製造の工程でスリプロン(有機溶剤)を使用致します。スリプロンにはPRTR対象となる次の2種の化学物質が含まれている為、使用量の把握と適正管理が必要となります。

《スリプロンに含まれる対象の化学物質》

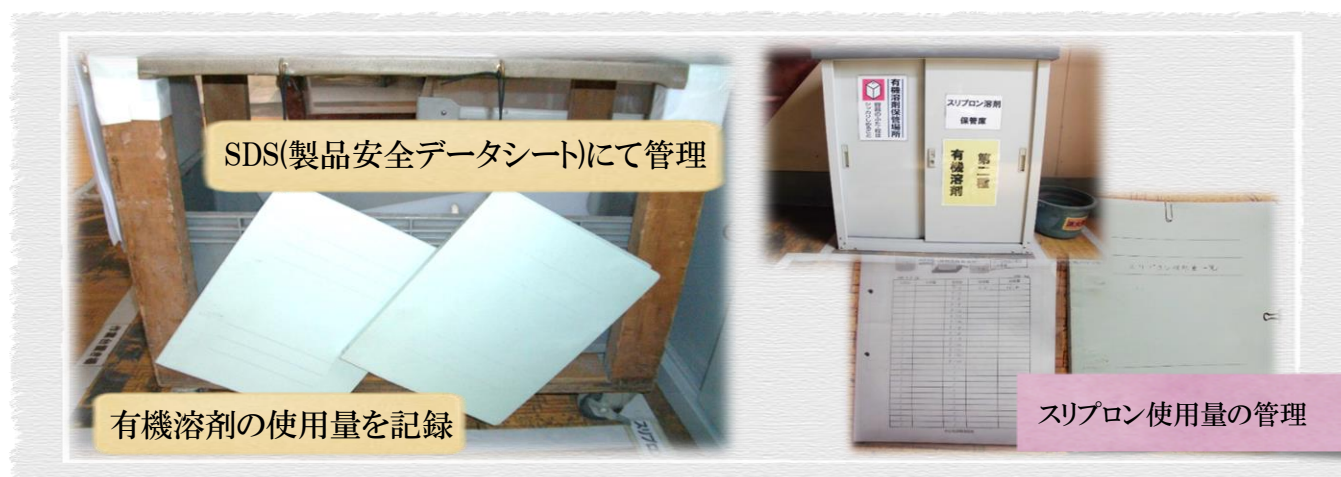
- ①トルエン 第1種 227
- ②N-ヘキサン(ノルマル-ヘキサン) 第1種 392 110-54-3

責任者:EA担当リーダー 担当者:EA担当

取組目標	活動項目	実施状況
化学物質の適正管理	有害性の化学物質の適正管理を行う	○

【実施状況の判定】 ○:実行されている △:実行されているが十分でない ×:実行されていない -:判定できない、該当しない

■有機溶剤塗布場



◆取組結果の評価

1 確実に化学物質の適正管理出来ている

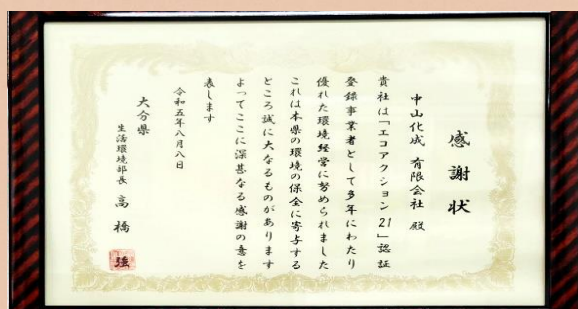
判定

○

◆取組結果への対策

I 有機溶剤の使用量を記録し、SDS(製品安全データシート)での管理を引き続き行う

大分県 生活環境部長様より感謝状



多年にわたり環境経営に取り組んだ事への感謝状をいただきました。

2023年度環境経営レポート大賞・九州 選考委員会特別賞



6. 環境関連法規等の遵守状況

最終確認日：2024年6月20日

該当する条項			
法律名等	対象設備、作業等	要求事項	
廃棄物処理法	事業系一般廃棄物	委託基準の遵守	契約書を以って確認した。
	産業廃棄物 1.廃油 2.廃プラスチック 3.ガラス屑 4.汚泥 5.その他ガレキ類	保管基準の遵守	掲示板を設置した。
		許可業者への委託	契約書を以って確認した。
		委託基準の遵守	契約書を以って確認した。
		産業廃棄物 (排出者責任)	現地視察で確認した。
		管理票(マニフェスト票)の交付	記録で確認した。
		管理票(マニフェスト票)A票の保管	記録で確認した。
		管理票(マニフェスト票)の写しの送付 を受けるまでの期間	記録で確認した。
		管理票(マニフェスト票)に関する知事 への定期報告	大分県廃棄物対策課へ2023年度分を 2024.6.12に提出済み。
産業廃棄物の処理困難通知及び虚偽記載 時の対応(特別管理産業廃棄物含む)	廃棄物の適正管理の確認、対応	該当なし	
廃棄物全般	投棄禁止(未遂を含む)	社員にヒアリングを行い、確認した。	
	焼却禁止(未遂を含む)	社員にヒアリングを行い、確認した。	
労働安全衛生法	労働者	健康診断	年に1回(有機溶剤検査は年2回) 健康診断を行っている
有機溶剤中毒 予防規則 (労働安全衛生法に 基づく省令)	(1)有機溶剤 トルエン第1種227 / N-ヘキサン(ノル マル-ヘキサン)第1種392 110-54-3 (2)有機溶剤等 有機溶剤及び当該有機溶 剤5wt%を超える含有物 ①第1種有機溶剤 クロロホルム等7種類 ②第2種有機溶剤 アセトン、トルエン、IPA スチレン等40種類 ③第3種有機溶剤 ガソリン等7種類 (3)有機溶剤業務 有機溶剤含有物を用いて 行う12種類の業務 (4)対象作業場所 ①屋内作業、通風が不十 分な場所など ②有機溶剤の製造又は 取り扱う業務	第1種又は第2種有機溶剤に係る設備 掲示	現地で確認した。
		種別区分の標示	
		作業環境測定	記録で確認した。
		保護具	現地で確認した。
		貯蔵及び空容器の 処理	
自動車リサイクル法	自動車の管理	自動車の所有者の責務	該当なし
	再資源化等の実施	使用済自動車の引渡義務	該当なし
	リサイクル料の納付	再資源化預託金等の預託義務	該当なし
フロン排出抑制法	業務用冷凍空調機器	簡易定期点検	チェックシートにて確認した。
家電リサイクル法	エアコン、テレビ(ブラウン管・液晶・プラズ マ)、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機、衣類乾燥機	特定家庭用機器廃棄物の再商品化	該当なし
騒音規制法	特定施設 ・コンプレッサー(原動機の定格出力が7.5キ ロワット以上のものに限る)	定義	日田市担当者に確認した結果、届出の 必要無し。
		地域の指定	
		条例による上乗せ規制基準	
		規制基準の遵守義務	
		特定施設の設置・の届出	
		特定施設の数等の変更の届出	
		氏名の変更等の届出	
振動規制法	特定施設 ・コンプレッサー(原動機の定格出力が7.5キ ロワット以上のものに限る)	承継	日田市は指定地域外により適用除外。
		規制基準の遵守義務	
		特定施設の設置の届出	
		特定施設の変更の届出	
		氏名の変更等の届出	
		承継	

■違反・訴訟等の有無

環境関連法規の違反はなく、関係機関からの指摘も受けておりません。
また、同様に利害関係者からの訴訟等もありませんでした。

7. SDGsの取り組み

* 当社の取り組みと、SDGsとの繋がりをまとめました。

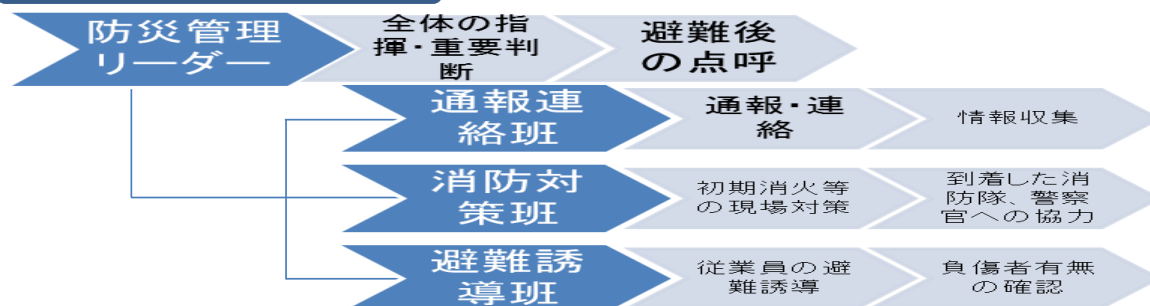
S D G s	17 の 目 標	                																
		貧困	飢餓	健康と福祉	教育	ジェンダー平等	水・衛生	エネルギー	働きがい、経済成長	産業と技術革新	不平等	住み続けられるまちづくり	生産・消費	気候変動	海の豊かさ	陸の豊かさ	平和と公正	パートナーシップ
環境 目標 項目	エネルギー	電気使用量の削減	省エネ・節電					●				●		●				
			クールビズ、ウォームビズ		●			●				●		●				
			コンプレッサーのエア漏れ点検					●				●		●				
			エアコン清掃		●		●	●				●		●				
		灯油使用量の削減	ドアを開けっぱなしにしない					●				●		●				
		ガソリン使用量の削減	エコドライブ		●			●				●		●				
		軽油使用量の削減	エコドライブ		●			●				●		●		●		
	廃棄物	産業廃棄物のリサイクル推進	マニフェストをもとに訂正な処理		●		●					●	●	●	●	●		
		一般廃棄物排出量の削減	裏紙利用、リサイクル処理									●	●	●		●		
			会議の電子化									●	●	●		●		
	水	水使用量の現状維持	節水		●		●					●			●			
	大気	化学物質の適正管理	有害性の化学物質の適正処理		●		●					●	●	●				
	製品・サービス	グリーン購入の推進	エコマーク商品を購入する									●	●			●		
	社会・貢献	地域ボランティア	工場周辺の清掃活動				●					●				●		●
			キャップ・プルタブの回収		●							●						●
		配慮	騒音、振動		●							●				●		
		貢献	防災訓練の実施		●							●		●			●	●
			エコアクション21委員会		●	●	●	●				●	●	●	●	●	●	●
			ワンクリック募金	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●
	環境情報	情報の発信	LINEでの情報共有		●	●	●		●	●	●		●					
雇用	条件		高齢者雇用・障がい者雇用	●		●		●			●							
			出産・育児・介護休業制度	●		●		●			●							
	環境		福利厚生、健康診断		●				●									
			有給休暇年5日取得の推進		●				●									
			受動喫煙対策		●				●									
			人事考課制度			●			●	●	●							

8. その他の活動

5月・11月(年2回) 各工場で防災訓練を実施。

現場からの引火及び火災、大雨による土砂災害、大規模地震を想定し訓練を実施致しました。

防災管理体制フロー



通報訓練

通報訓練では、別工場を消防署に見立て、緊急時119通報マニュアルに基づき通報を行いました。消防署からの質問内容は状況によって変化する為、どのような状況においても冷静に対応することの重要性を再認識しました。



避難訓練【火災訓練】

火災訓練では、第一発見者が通報連絡班に火災発生を伝達致しました。その後、通報連絡班は緊急構内放送を行い、緊急事態連絡表に従い連絡を行いました。消防対策班は、粉末消火器にて消火するふりを行い、避難誘導班は残留者が居ないか確認しながら、駐車場まで誘導致しました。

避難訓練【土砂災害訓練】

土砂災害訓練では、行政・民間より発表されている災害情報を確認し、工場周辺及び施設内の異常確認を目視により行いました。代表取締役(訓練の際は別工場)に連絡の後、事前に設定している設備持ち出しリストにより担当者にて、最低限の設備を持ち出し、退避訓練を行いました。



避難訓練【大規模地震訓練】

大規模地震の想定訓練では、揺れが収まるまでテーブルの下等に身を隠し、揺れが収まったら緊急構内放送を行い、防災管理体制表に従い、避難を行いました。離れた場所から、工場周辺及び施設内の異常確認を行い、緊急事態連絡表に従い連絡を行いました。



9. 環境責任者による2023年度の工場全体の評価

- ・本 社 少人数の為、同一社屋のやわらか製作所の方と協力して活動や取組がしっかりできている。
- ・日高工場 コロナとインフルエンザの同時感染が懸念され、引き続き換気等の感染症対策を行いながらの取組となったが、今期から清掃活動も再開できた。業者に依頼し、エアコンの清掃を行ったり、足元に扇風機を設置する等、節電対策にも取り組んだ。
- ・川下工場 今年度は新たに裁断機を導入し、2台体制となった。効率の良い作業ができ、従来の交代勤務がなく、日勤のみでの生産が可能となった。電気使用量には注視しなければいけないが、弊社既存の裁断機に比べ、廃棄部分の減少も見込まれるので、期待したい。

10. 代表者による全体の取組状況の評価及び見直し

①二酸化炭素排出量について

年間を通して2工場共に概ね問題なく目標を達成できている。電気使用量の目標値は、業務量が大きく影響してくる為、生産台数を基に毎年、算出している。引き続きコロナやインフルエンザ感染症対策の換気にも気を配っていたが、日高工場の灯油使用量については、大幅に達成できている為、実績値に近い目標設定が必要。ガソリン使用量については、社用車の変更を行ったため、来期は見直しが必要。

②産業廃棄物排出量について

川下工場では、マニフェストに基づく適正な処理が出来ている。

③一般廃棄物排出量について

2工場共に概ね目標を達成出来ている。川下工場は生産量の増減に影響を受けやすいので評価出来る。

④水使用量について

2工場共に概ね目標を達成出来ている。人数増減の影響があるので評価出来る。

⑤グリーン購入について

3工場共に社内基準のグリーン購入が出来ている。ルールが根付いていて評価出来る。

⑥工場周辺の清掃活動について

昨年度までは感染症対策として清掃活動は中止していたが、「5類感染症」へ引き下げられたことも考慮し、今期より再開した。夏季は熱中症対策も必要となるので、無理のない範囲で実施してもらいたい。

⑦地域貢献活動について

例年通りペットボトルキャップ・プルタブの回収に引き続き取り組んでいる。全体での取組となると出来る事は限られてしまうので、個人でも出来る取り組みを探して、地域の方に貢献できる活動を行っていきたい。

■見直し及び来期以降の変更必要性の有無

	変更の必要性	指 示
環境経営方針	無し	今期と同様の内容にて継続する。
環境経営目標 環境経営計画	無し	環境経営目標と経営計画に変更はないが、目標値を大幅に達成できている項目（日高工場の灯油使用量）については、目標値の見直しを行う。電気使用量については、業務量が大きく影響してくるので、引き続き毎年、出荷台数を基準に目標値の設定を行う。ガソリン使用量については、社用車の変更を行い、日高工場の対象車が無くなった為、目標値を削除する。
実施体制	無し	委員会は概ね継続して開催されている。環境管理責任者が年度途中で変更になったり、他の業務の影響で、例年の様な取り組みが難しいところがあったが、環境への取り組みが自分たちの為、会社の為、地球の為という意識を持ってもらいたい。来期も全従業員に周知徹底して環境経営に取り組むたい。
その他環境経営システムの要素	無し	数年前より、エコアクション21の委員会資料の電子化を行い、継続出来る事が評価できる。環境管理責任者の変更や、業務の影響で例年通りの取り組みが難しいところもあったが、今後も無理のない様、継続してもらいたい。今年度は、12月に新しく裁断機を導入し、2台稼働で生産可能となった。電気使用量は増加したが、従来二交代制だった勤務が、日勤のみとなった。防災訓練は、火災だけでなく、自然災害等、具体的な想定を行い、実施出来ている。実際に災害が起きた時に怪我や事故の無い様、安全衛生委員会と協力して行って欲しい。継続が大事なので、委員会を中心に色々な環境活動にチャレンジして欲しい。

2024年5月23日

中山化成有限会社

代表取締役 谷口 知幸

11. 次年度の取組

■2024年度の環境経営目標

環境経営目標		単位	工場	基準値	本年度 (2024年度) 目標値	来年度 (2025年度) 目標値	再来年度 (2026年度) 目標値
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2 /稼働日数	本社	同一建物内でウレタン部門を”やわらか製作所(株)”と分社化し、環境負荷を分けることが出来ない為、数値目標は立てず活動を行う			
			日高	276.82	276.82	274.05 (▲1%)	271.28 (▲2%)
			川下	413.57	413.57	409.43 (▲1%)	405.30 (▲2%)
2-1	産業廃棄物のリサイクル推進	%	全工場	100	現在のリサイクル率(100%)を維持		
2-2	一般廃棄物排出量の削減	kg	本社	同一建物内でウレタン部門を”やわらか製作所(株)”と分社化し、環境負荷を分けることが出来ない為、数値目標は立てず活動を行う			
			日高	620	595 (▲4%)	589 (▲5%)	583 (▲6%)
			川下	2,430	2,333 (▲4%)	2,309 (▲5%)	2,284 (▲6%)
3	水使用量の現状維持	m³	本社	井戸水使用の為、数値目標は立てず活動を行う			
			日高	300	現状維持		
			川下	48			
4	グリーン購入の推進		全工場	不明	社内規定に基づき100%を目指す		
5-1	工場周辺の清掃活動	回	全工場	実績無し	月1回行う		
5-2	地域の活動に参加	回	全工場	実績無し	地域の実態調査を行い、活動回数を把握して、数値目標を定める		
6	化学物質の適正管理		日高	-	数値目標を立てず、適正に管理する		
			川下	-			

注1) 本社は、項目1・項目2-2について、ウレタン部門分社化の為、数値目標は立てず活動を行います。

注2) 項目1 二酸化炭素排出量削減において、2022年度より購入電力の排出係数を0.489kg-CO2/kwh(2020年度㈱リミックスポイント)を使用しております。

注3) 項目1について、電気使用量は、昨年度の生産台数実績から1台当たりの電気使用量を算出し、今年度の予定台数に反映し、2020年度より毎年、基準値を変更します。

注4) 項目1について、ガソリン使用量は対象車を変更した為川下工場は2023年度・日高工場は2024年度に基準値を変更、日高工場の灯油使用量は目標を大幅に達成した為2024年度に基準値を変更しております。

注5) 項目2-2について、目標達成が続いた為、2020年度に基準値を変更しております。

注6) 項目3について、目標未達成が続いた為、川下工場は2022年度、日高工場は2023年度に基準値を変更しております。

注7) 項目4について、グリーン購入に関する社内規定…「エコ商品と比較したときに価格が10%以上高くなる場合は、エコ対象外商品を購入する。」

注8) 項目6について、本社は化学物質の使用が無い為、除外しております。

■2024年度の主な環境経営計画

1. 二酸化炭素排出量の1%削減

取組目標		活動項目
1 電気使用量の1%削減	1	事務所、現場の照明は、昼休み、残業時等不必要な時は消灯する
	2	食堂・トイレ等の照明は、普段は消灯し、使用時のみ点灯する
	3	夏季における軽装(クールビズ)の推進
	4	電力不要時は、負荷遮断、変圧器の遮断を行う
	5	OA機器(パソコン)は省電力設定にする
	6	コンプレッサーのエアリー漏れ点検
2 灯油使用量の1%削減	1	感染症対策の換気以外、ドアや窓を開けっ放しにしない
	2	重ね着をする(ウォームビズ推進)
3 ガソリン使用量の1%削減	1	エコドライブ等運転方法の配慮を励行する
	2	配送(社用車)の無駄をなくす
4 軽油使用量の1%削減	1	エコドライブ等運転方法の配慮を励行する

2-1. 産業廃棄物のリサイクル推進

取組目標		活動項目
1 リサイクル率(100%)の維持	1	マニフェストをもとに廃棄物の適正な処理を行う

2-2. 一般廃棄物排出量の1%削減

取組目標		活動項目
1 一般廃棄物排出量の1%削減	1	活用できる裏紙の利用
	2	両面使用済みのコピー用紙はリサイクル処理する 重要書類はシュレッダーにかけ、袋に入れてリサイクル処理する
	3	会議用資料や事務手続書類の集約化及び電子化を行う

3. 水使用量の現状維持

取組目標		活動項目
1 水使用量の現状維持	1	節水をする

4. グリーン購入の推進

取組目標		活動項目
1 グリーン購入の推進	1	事務用品はエコマーク商品を購入する

5-1. 工場周辺の清掃活動

取組目標		活動項目
1 工場周辺の清掃活動を行う	1	月に1回、工場周辺の清掃活動を行う

5-2. 地域の活動に参加

取組目標		活動項目
1 地域の活動に積極的に参加する	1	地域のボランティア活動等に積極的に参加する
	2	ペットボトルのキャップ・空き缶のプルタブの回収

6. 化学物質の適正管理

取組目標		活動項目
1 化学物質の適正管理	1	有害性の化学物質の適正管理を行う

